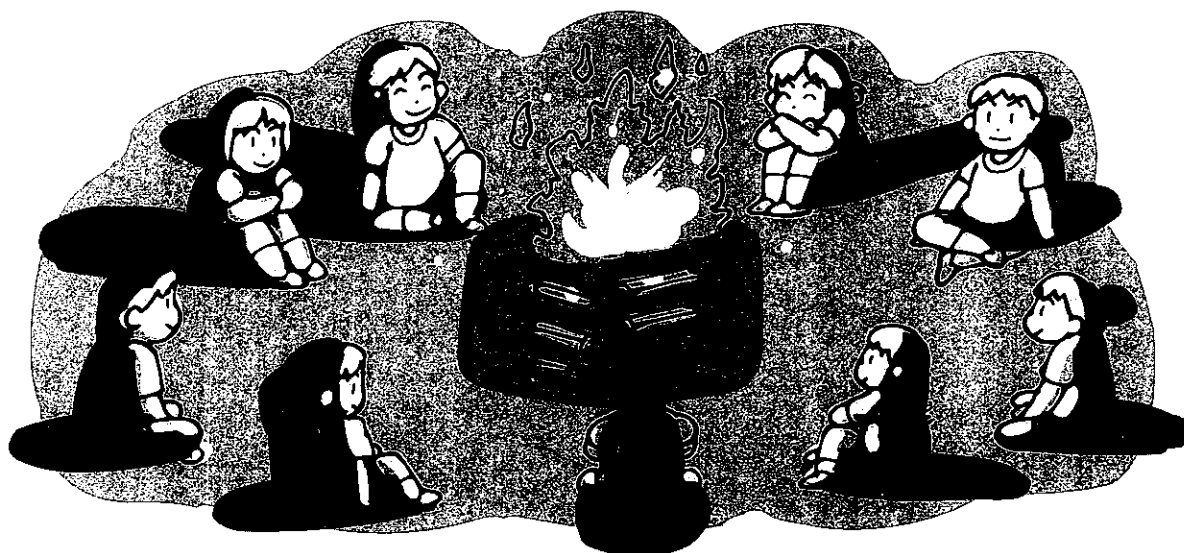


平成20年度 研修報告書 第35号

# がんばってます!ジュニアリーダー

～ 過去 現在 そして未来へ～



【大河原地区社会教育主事研究協議会】



## 発 刊 に あ た っ て

大河原地区社会教育主事研究協議会では、社会教育主事として、各市町の現場における住民の学びや感動体験をお手伝いする中で課題となっていることについて、調査研究を行い、現状と課題をさぐり、その解決策を見いだしていく研修活動を行っております。

これまで幾多の先輩方が市町村の枠を越え、社会教育のより良い形での推進を目指して研修活動を行ってこられました。このことをふまえながら一年間を通して調査研究してきたことのまとめとしてこの報告書を作成いたしました。

今年は、子ども会活動の支援や地域活動を行う中学生・高校生・勤労青年のリーダー「ジュニア・リーダー」をテーマにしました。各市町で活動をしているジュニア・リーダーは市町教育委員会が初級研修、県教育委員会が中級、上級研修を行い育成していますが、近年会員数の減少や活動するメンバーの固定化などの問題が出ていました。そこで、各市町におけるジュニア・リーダーの実態、過去からの経緯と現在の状況、そこから課題を明らかにし、解決への方策を見いだしていくという作業を行うことにしました。各市町社会教育主事の中から1名が研修委員として携わり、毎月1回、研究協議会がもたれる日の午前中に、それぞれが調査したことの報告と協議を行う活動を続けました。この間、9月には育成に優れた実績のある南三陸町、塩竈市の視察研修を行うとともに、11月にはジュニア・リーダー経験者の方々による座談会を行いました。

各市町における育成の様子や活動の状況がひとつのテーブルの上で話し合われる中から見てきたことは、忙しい学生生活の中で、ジュニア・リーダーであることの誇りをもって、頑張っている彼らの姿でした。彼らのこの頑張りに敬意を表して、報告書のタイトルを「がんばってます！ジュニア・リーダー ～過去 現在 そして未来へ～」としました。研修委員の一年間の成果が、ジュニア・リーダーの育成指導にあたっている方々や、子ども会の育成者の方々、教育関係者の方々に何らかのお役に立てれば幸いです。

最後に、一年間ご指導いただきました宮城県大河原教育事務所の先生方をはじめ、ご協力いただきました方々に感謝申し上げますとともに、本年度研修に取り組まれた各市町の研修委員の皆さんのご努力に対し、心から敬意を表し発刊のことばといたします。

平成21年3月

大河原地区社会教育主事研究協議会

会 長 大河原町社会教育主事 尾 形 彰

# 発 刊 を 祝 し て

宮城県大河原教育事務所 所長 倉 田 栄 喜

管内各市町において社会教育の振興と充実・発展にご尽力されている大河原地区社会教育主事研究協議会の皆様が、日ごろの激務を克服しつつ、今年度も「研修報告書（第35号）」を発刊されましたことに心からお祝いを申し上げます。昭和48年以来生涯学習をテーマに絶えざる研修を積み重ね、着実に研究成果をあげていることは、協議会員の真摯な研究姿勢とご努力によるものと敬意と感謝を申し上げます。

さて、現代社会では、情報化・国際化・高齢化が進む一方、余暇時間の増大にともない生涯学習・生涯スポーツの必要性が指摘されております。また、教育基本法の改定を受け、昨年7月に「教育振興基本計画」が策定され、我が国の教育の目指すべき道筋が提示され、四つの基本的方向の柱として「社会全体での教育向上への取組み」が掲げられました。

このことは、学校・家庭・地域社会を通じて、大人一人一人が子供たちをいかに健やかに育てていくかという視点に立っており、これからの教育の在り方として、社会全体で子供たちの「生きる力」を育てていくことが基本であると考えます。それだけに、学校・家庭・地域社会、そして行政が相互に連携し協働しながら、社会全体で育てていくものであり、社会のあらゆる場で取り組んでいくべき課題であるといえます。

こうした状況の中で社会教育におけるとりわけ少年教育は、重要な領域とされ、特に各地域の子ども会活動の指導・支援、そして地域社会の振興の手助けとして活躍するジュニア・リーダーの育成は各市町に課せられた重要な課題と思われまます。

ここに、少年教育に携わる職員の立場から、少年教育とジュニア・リーダーについての現状と課題は何かということの研究協議されたことは、誠に時宜を得、意義深いものと敬服いたすものであります。これにより、少年の多様化した要求課題に対して、必要課題が何であるかが明らかになったものと考えます。

この研修報告はこれに係わった研修委員の方々は勿論のこと、管内の多くの社会教育行政担当者の力量溢れる研究の集大成であるといえます。そして県内の少年教育を担当する人々の指針ともなるものと確信するものです。今後とも生涯学習のまちづくりをめざし、新しい視点をもって実践を重ねられ、社会教育のより一層の充実・発展にご尽力されますよう心より期待してやみません。

最後になりましたが、本書を刊行されるにあたり、多くのご努力を払われました研修委員の皆様と貴研究協議会に対し、心より敬意と感謝を申し上げますとともに、一層のご発展を祈念しお祝いのことばといたします。

# 目 次

発刊にあたって

発刊を祝して

1	はじめに .....	1
2	研修テーマと経過 .....	3
3	ジュニア・リーダーとは .....	5
4	各市町のジュニア・リーダー活動 .....	7
5	ジュニア・リーダー 中級研修会 上級研修会 .....	47
6	大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会 .....	53
7	座談会「ジュニア・リーダーについて」 .....	55
8	先進地視察研修報告 .....	65
9	まとめと課題 .....	71
10	おわりに .....	72



## はじめに

現在、青少年を取り巻く環境は大きな問題を抱えています。情報の氾濫、社会モラルの低下や格差社会の顕在化、特に、共働き家庭の増加や地域連帯意識の希薄化などは、家庭や地域社会の教育力を低下させる一因と言われており、青少年の健全育成にさまざまな影響を及ぼしています。このため、学校、家庭、地域が一体となって青少年の健やかな成長を見守り、育んでいくための環境づくりがますます重要になってきています。

次の世代を担う青少年を育成する上で重要なことは、青少年が自主性と社会性を身に付け、広い視野と豊かな教養をもち、心豊かでたくましく成長することを支援することです。この時期は、精神的にも肉体的にも成長が著しい時期であると言われていています。人と人との関わりや自然とのふれあいを通して、仲間との絆や友情を深め、また、地域との連帯感を高めていくことで社会人としての基礎を培い、人間性豊かな人格が形成される大切な時期であるとも言われています。

そこで、今年度の研修委員会では「青少年教育」に焦点をあて、特に各市町の青少年教育担当者の支援のもと、その地域ごとに高校生や中学生による自主的な運営でボランティア活動を展開してきた「ジュニア・リーダー」にテーマを設定しました。

子ども会活動等において、ジュニア・リーダーとして活動することは、地域教育ボランティア活動と言えます。この活動を通じて、地域の大人から信頼され、年少の子供たちから慕われる存在として、自他が認める有用感を得ることができます。また、ジュニア・リーダーとして研修を積み、技術の向上を図り、子ども会等で実践する過程の中で、豊かな人間性やコミュニケーション能力を身に付けることができます。

このように、青少年が地域社会の中で異年齢や異世代の人たちとその活動を通して触れ合いながら成長していくことが、青少年の健全な育成には必要であり、その意味においてジュニア・リーダーの活動は貴重な青少年教育の機会であると考えられます。

今年度、研修委員会では、「ジュニア・リーダー」について研修を深めることにより、青少年の健全な育成の方向性を探ってまいりました。その研修の足跡がこの研修報告書です。この研修報告書が、管内各市町における「ジュニア・リーダー活動」ひいては青少年教育活性化の一翼を少しでも担うことができれば幸いです。ご意見やご感想、活動のアイディア等お聞かせ願えればうれしく思います。

平成21年3月

平成20年度大河原地区社会教育主事研究協議会研修委員会  
研修副委員長 仙南地域広域行政事務組合 教育委員会  
派遣社会教育主事 森 智 弘





# 研修テーマと経過



## 研修テーマについて

### 1 研修テーマ

がんばってます！ジュニア・リーダー ～過去 現在 そして未来へ～

### 2 研修テーマ設定の理由

#### (1) 研修の目的

- ①大河原教育事務所管内のジュニア・リーダー育成について、その方法や課題を検証し、よりよいジュニア・リーダー育成の在り方を探る。
- ②各市町の青少年教育におけるジュニア・リーダー活動の概要を明らかにし、共有することで各市町の青少年教育の活性化の一助とする。
- ③ジュニア・リーダー活動の有効性について、地域・家庭・学校・行政の共通理解を図る。

#### (2) 研修テーマ設定の理由

子ども会が全国各地で結成されるようになって40年以上が経過した。当時の子ども会はとも活発に活動しており、子ども会で育った子供たちも成長し、今では地域の中心的役割を担っている。しかし、現在は子ども会が衰退していく傾向にある。その理由としては、急速な科学技術や文化の発展がもたらした、めまぐるしい時代の変化が考えられる。具体的には都市部への人口の流出、都市的生活様式の一般化、それらに伴う地域連携や人間関係の希薄化、加えて学歴社会における進学競争の激化、テレビやゲーム機器の普及や事件報道等の影響による遊び場所の変化、そして少子化などが挙げられ、課題は多種多様である。

子ども会活動の主体は子供たちであり、大人は「子供の手による子ども会」が現実のものとなるよう支援に徹していなければならない。そこで必要となるのが子供たちをまとめていく「ジュニア・リーダー」である。大人が子供たちに関わることも必要だが、子供たちと年齢が近いジュニア・リーダーは、親近感もて、頼もしく見本となる存在にもなり、子供たちの成長に大きく貢献する。そして活動を通し、ジュニア・リーダー自身も大きく成長することができる。ジュニア・リーダーは、子ども会の指導者として活動するため、子供との接し方や子ども会についての知識、アドバイスの仕方、グループのまとめ方、活動を進めるために必要な知識や技術などを身につけておかなければならない。このように様々な力や役割を求められるため、各種研修会の参加や実践を通し経験をつむ必要がある。

しかし、ジュニア・リーダーの活動の回数が少なくなり活躍の機会が減少している。この大河原教育事務所管内においてもジュニア・リーダーの会員数は年々減少している。ジュニア・リーダーの衰退は、活動の主体が地域にあることから、青少年が地域社会とのかかわる機会も希薄することに繋がる。このことは地域における青少年教育の停滞を助長させるだけにとどまらず、将来的な地域社会への影響も大きいと言える。

青少年教育事業は今後一層必要とされ、ジュニア・リーダーはその中心的存在となると考えられる。

これらを踏まえ、各市町におけるジュニア・リーダーの活動内容や現況を把握し、今後の青少年教育事業の発展に生かせればと考え、研修を進めることとした。

## 研修日程と経過

月 日 (曜日)	会 議 名	会 場	内 容
4月25日(金)	第1回主管課長・社会教育主事 合同会議 社会教育主事研究協議会総会	大河原町 金ヶ瀬公民館	19年度事業, 会計決算報告 20年度事業, 予算, 役員改選等
5月 8日(木)	第1回研修委員会 第1回社会教育主事研究協議会	丸 森 町 町民センター	研修委員会役員の選出, 研修内容 年間計画等の検討 話題提供
6月 6日(金)	第2回研修委員会 第1回社会教育主事会議	大河原町役場	研修テーマの検討と決定 研修視察地の選定
7月16日(水)	第3回研修委員会 第2回社会教育主事研究協議会	七ヶ宿町 活性化センター	研修の基本構想や方向性等の検討 研修視察地の決定 話題提供
8月28日(木)	第4回研修委員会 第1回社会教育主事等研修会	柴 田 町 しばたの郷土館	資料の収集, 研究の推進 研修視察の実実施計画と役割分担
9月26日(金)	社会教育主事研究協議会 先進地研修視察	南三陸町 志津川公民館 塩竈市公民館	研修テーマの先進地調査「南三陸町 教育委員会」「塩竈市教育委員会」
10月 7日(火)	第5回研修委員会 第3回社会教育主事研究協議会	角 田 市 市民センター	研修視察の反省, 研究の推進 座談会の実施計画 話題提供
11月11日(火)	第6回研修委員会 第2回社会教育主事会議	柴 田 町 しばたの郷土館	座談会の実施「講師4名」 研究の推進
11月28日(金)	第2回主管課長・社会教育主事 合同会議	大河原合同庁舎	平成20年度事業・平成21年度 事業の連絡と確認
12月11日(木)	第7回研修委員会	大河原町 金ヶ瀬公民館	座談会の反省, 研究の追究 報告書の内容検討と割り付け
1月29日(木)	第8回研修委員会 第4回社会教育主事研究協議会	川崎町公民館	研究の追究, 報告書の原稿作成 話題提供
2月17日(火)	第9回研修委員会	大河原合同庁舎	報告書の原稿作成, 校正等
3月 4日(水)	第10回研修委員会 第5回社会教育主事研究協議会	柴 田 町 しばたの郷土館	報告書の校正, 研究のまとめと 反省等 話題提供

# ジュニア・リーダーとは



## ジュニア・リーダーとは

### 1 ジュニア・リーダーとは

ジュニア・リーダーとは、公民館や児童館、市民センターなどを活動拠点とし、子ども会活動の指導や地域ボランティア活動を行う、市町の教育委員会や子ども会育成会等が支援する、子ども会会員の中学生・高校生・勤労青年のリーダーのことである。

市町によって、高校生のみを会員の対象としているところもあれば、中学生以上を対象としているところがある。ジュニア・リーダーが集まって組織されるジュニア・リーダー・サークルの組織体系も市町によって異なっている。

### 2 子ども会活動におけるジュニア・リーダーの役割

ジュニア・リーダーは、成人指導者や育成者の補助的機能を果たすもの（お手伝い）ではなく、独自の指導的役割をもって子ども会活動を導いている。その主な役割が次の通りである。

- ①子ども会員の仲間づくりのよき理解者として、その推進に当たるとともに、自らの成長を図る。
- ②班活動の具体的実践的な指導に当たり、子ども会員の積極的な参加を促進させる。
- ③集団指導者の指導のもと、子ども会を運営している会長・班長などの役員の活動を援助する。

ジュニア・リーダーは、それらの役割を全うするため、理論・方法・実技について、段階をふまえながら履修するとともに、実際に活動を通じて常に自らを高めておく必要がある。

### 3 ジュニア・リーダーの役割の見直し

これまでのジュニア・リーダーは、子ども会活動の振興を図るための子ども会の直接的な指導に当たる年少指導者と位置付けられていた。しかし近年、青少年が子ども会活動にとどまらず、自主的に地域の社会活動に参加することは、青少年自身の成長に有意義なものとなるだけでなく、地域社会の振興が図られることから地域にとっても重要なことと捉えられるようになった。

このことから、ジュニア・リーダーは、子ども会活動の支援と地域活動を行う年少リーダーと見直され、将来の地域社会の青年リーダーとなって活躍されることが期待されるようになった。

### 4 ジュニア・リーダー研修制度

平成19年度までは、ジュニア・リーダー初級・中級・上級それぞれの受講できる年齢について、初級は中学1年生以上、中級は中学2年生以上、上級は高校1年生以上と制限が設けられていた。これは、それぞれの内容と受講者の発達段階に応じた理解度、中高一貫した養成という観点からの制限だった。

しかし、研修を受講する中高生等の減少やジュニア・リーダーの役割が見直されたことから、平成20年度から研修制度も変更となった。その主な変更点は次の通りである。

- ①研修体系の選択研修科目が、実態やニーズに応じた幅広いものとなり、研修内容の精選と発展・充実が図られた。また、実践力の育成を図るため、初級・中級の研修時間を10時間以上とし、初級から中級、中級から上級へ進む際には、研修間に10時間以上の活動実績があることを受講条件とした。
- ②受講対象が拡大され、初級は小学6年生から受講できるようにした。
- ③参加しやすい研修会とするため、中級の研修日程を2泊3日型から1泊2日型とした。

## 5 宮城県教育委員会におけるジュニア・リーダーの定義

ジュニア・リーダーには、宮城県教育委員会で編集発行している「ジュニア・リーダー手帳」が配付され、ジュニア・リーダーとしての活動や研修の経歴や証明が記載できるようになっている。

この手帳の中に「ジュニア・リーダーの基礎知識」が明記されており、その中の「ジュニア・リーダーとは」では、ジュニア・リーダーについて簡潔で判りやすく説明されているのでその部分を紹介する。

### 「ジュニア・リーダーとは」

#### (1) ジュニア・リーダー

子ども会活動及び地域社会の振興を図るため、子ども会活動の支援及び地域活動を行う、中学生・高校生・勤労青年等の年少リーダーです。

#### (2) ジュニア・リーダーの条件

責任感。計画性。思いやり。積極性。

子ども会や地域社会への関心・研究心をもち続ける態度。

子どもや地域の特性を発見する目。

押しつけず子どもの芽をのばす心。

子どもと共に自分をより高めようとする自覚。

#### (3) 望ましいジュニア・リーダーのあり方

ジュニア・リーダーは、子どもたちのよき理解者であり、子どもたちに愛情をもって望むことが不可欠です。

ジュニア・リーダーは、子ども会活動や地域活動を促進し、援助します。

ジュニア・リーダーは、地域社会の中にしっかりと足を踏みしめることが大切です。

ジュニア・リーダーは、理論的にも、技術的にも常に研究し、向上心をもつことが必要です。

ジュニア・リーダーは、サークル内の仲間と協力しあうことが大切です。

ジュニア・リーダーは、成人の指導者・指導機関と連絡を取り合い、助言を受けることが必要です。

ジュニア・リーダーは、規範意識をもち、相手にとって気持ちのよい言葉づかいや身だしなみに心がけることが必要です。

「宮城県教育委員会『ジュニア・リーダーの基礎知識』(2008)」より

## 6 会員の減少に関する課題

原因のとして次のようなことが挙げられる。そしてこれらは各市町が抱えている課題となっている。

- ①児童生徒数の減少、②子ども会の衰退、③活動機会の減少、④中高生の多忙化、⑤主体性・積極性の希薄、⑥活動内容や存在の広報不足、⑦行政担当者の多忙化、など



# 各市町のジュニア・リーダー活動



## 白石市のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

昭和50年頃、市内各地区ジュニア・リーダーが集まり、「白石ジュニア・リーダーズサークル」が結成された。昭和55年、「白石ジュニア・リーダービッキーズ」結成。名前の由来は、テレビ番組「がんばれ！レッドビッキーズ」より。平成になって「白石ジュニア・リーダーキャロル」に改名。市内子ども会、市・市教育委員会・中央公民館・児童館等の各種行事に積極的に参加し、青少年の健全育成



わんぱく少年教室でもジュニア・リーダーが大活躍しています。「そば打ち体験」



「こどもまつり」ではジュニア・リーダーコーナーを運営。「エコブーメラン作り」

を推進。その長年の活動実績を評価され、平成4年に仙南地区子ども会育成会連絡協議会より、平成20年度に宮城県子ども会育成連合会より表彰されました。部活、塾、受験、保護者の理解等、様々な理由で高校3年生まで活動を続けていけるジュニア・リーダーは少なくなりますが、それらの試練を乗り越えてきた高校生や卒業生と接しているジュニア・リーダーが今のキャロルを支え、さらに次へのステップを目指しています。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数 (各年12月現在)

	平成16年度 計(男・女)	平成17年度 計(男・女)	平成18年度 計(男・女)	平成19年度 計(男・女)	平成20年度 計(男・女)
高校3年生	19 (4・15)	15 (6・9)	13 (1・12)	6 (4・2)	5 (1・4)
高校2年生	20 (6・14)	15 (0・15)	13 (6・7)	5 (1・4)	9 (3・6)
高校1年生	25 (1・24)	13 (4・9)	11 (7・4)	9 (3・6)	10 (6・4)
中学3年生	21 (6・15)	8 (5・3)	13 (7・6)	10 (6・4)	10 (1・9)
中学2年生	14 (9・5)	11 (6・5)	9 (6・3)	11 (1・10)	17 (8・9)
中学1年生	13 (6・7)	8 (4・4)	11 (1・10)	14 (4・10)	15 (4・11)
計	112 (32・80)	70 (25・45)	70 (28・42)	55 (19・36)	66 (23・43)

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数 (各年12月現在)

	平成16年度 計(男・女)	平成17年度 計(男・女)	平成18年度 計(男・女)	平成19年度 計(男・女)	平成20年度 計(男・女)
上級	1 (1・0)	3 (2・1)	2 (1・1)	4 (1・3)	3 (1・2)
中級	6 (2・4)	3 (0・3)	6 (2・4)	14 (11・3)	14 (10・4)
初級	105 (29・76)	64 (23・41)	62 (25・37)	37 (7・30)	49 (12・37)

### 3 年間事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/26 (土)	前期総会	平成19年度の報告と平成20年度の計画について	白石市中央公民館
5/11 (日)	第32回こどもまつり	事業運営等の参加により資質向上を図る	白石市中央公民館
6/14 (土)	子ども育成フォーラム(子ども会育成指導者研修会を兼ねる)	事業運営等の参加により資質向上を図る	白石市中央公民館
7/ 5 (土)	ジュニア・リーダー初級事前研修	J・Lの技術等向上のための合宿研修会の事前研修	白石市中央公民館
7/12 (土)～13 (日)	大河原管内ジュニア・リーダー中級研修会	初級を取得した管内のJ・Lを対象に技術向上を図る合宿研修会	蔵王自然の家
7/26 (土)～27 (日)	ジュニア・リーダー初級研修会	J・Lの技術等向上のための合宿研修会	蔵王自然の家
8/ 2 (土)	ジュニア・リーダーキャンプ事前研修・入会承認	J・Lの技術等向上のための合宿研修会の事前研修とキャロル入会説明会	白石市中央公民館
8/ 3 (日)	遊びの達人養成講座	事業運営等の参加により資質向上を図る	南蔵王野営場
8/17 (日)	みやぎのジュニア・リーダー大会	県内のJ・Lが集まる研修会	松島自然の家
8/18 (月)～19 (火)	ジュニア・リーダーキャンプ大会	J・Lの技術等向上のための合宿研修会	南蔵王野営場
8/19 (火)～20 (水)	サマースクール	事業運営等の参加により資質向上を図る	清林寺
9/14 (日)	みやぎ蔵王高原マラソン大会	事業運営等の参加により資質向上を図る	南蔵王野営場
10/ 4 (土)	一館・二館まつり	事業運営等の参加により資質向上を図る	第一・二児童館
10/ 4 (土)	後期総会	平成20年度の中間報告と平成20年度の後期計画について	白石市中央公民館
11/16 (日)	第1回白石市健康福祉まつり	遊びの広場・車いす体験等の指導補助により資質向上を図る	ホワイトキューブ
12/25 (木)～27 (土)	宮城県ジュニア・リーダー上級研修会	中級を取得したJ・Lを対象に上級の技術を習得するための合宿研修会	松島自然の家
2/11 (水) 祝日	大河原管内ジュニア・リーダー交流研修会「アンパンマンとジャムおじさんズ」	大河原管内のJ・Lの資質向上と交流を目的とした研修会	白石市中央公民館
3/ 7 (土)～ 8 (日)	公民館まつり (駄菓子屋コーナー担当)	事業運営等の参加により資質向上を図る	白石市中央公民館
3/22 (日)	オイコン	卒業生を送る会	白石市中央公民館
通 年	それぞれの地区・支部等において、子ども会活動活性化のため様々な活動を展開。		
	定例会【今後の活動の打合せ、ゲーム・ダンス等の練習】（月1回）		
	わんぱく少年教室（年7回）6/28, 7/19, 8/6～8, 9/6, 10/18, 11/8, 12/13 開催。ニュースポーツ、キャンプ等の体験学習会		
	大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会代表者会議（年5回）4/19, 6/8, 11/29, 1/31, 3/7 開催。各市町ジュニア・リーダー代表者による交流研修会打合せ。		

#### 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

##### (1) 定例会

市内各地区のジュニア・リーダー中・高生が集まり毎月1回開催される定例会においては、会員同士の意見交換や知識・技術向上の研修により、ジュニア・リーダーの育成が図られている。

##### (2) 研修会

###### ①ジュニア・リーダー初級研修会

ジュニア・リーダーの養成とジュニア・リーダーの資質向上が図られている。

###### ②県子連主催の各種研修会やジュニア・リーダー中級・上級研修会の受講

知識・技術の向上が図られている。

##### (3) 交流会

###### 大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会

仙南地区子ども会育成会連絡協議会主催により大河原教育事務所管内2市7町のジュニア・リーダーが企画・立案し、開催するジュニア・リーダーの資質向上と交流を深める研修会。

##### (4) 教育委員会、子ども会育成会等が行う事業

###### ①わんぱく少年教室（市教育委員会主催）

市内小学5・6年生を対象に、実施している体験学習を主に行うインリーダー養成的な事業で、修了生の中には、ジュニア・リーダーになる子が多い。長く国の補助事業を活用して行われてきたが、補助事業が打ち切られてからは、市の単独事業費や宝くじ助成を活用するとともに参加者より参加費を増額することで事業を継続してきた。参加者は、女子が大部分を占めている。ジュニア・リーダーが小学生とのかかわりを学ぶ等重要な研修機会ともなっている。

###### ②第32回子どもまつり（実行委員会主催）

民生委員会・母親クラブ・PTA等の健全育成に関わる各種団体で組織する実行委員会が主催し行われています。ジュニア・リーダーも実行委員になっており、話し合いより参加しています。ポスター作成、オープニングの寸劇発表、ジュニア・リーダーコーナーの実施、エンディング補助等を行っています。

###### ③遊びの達人養成講座（市子ども会育成会連合会主催）

今年で10年目を迎えた親子の感動体験事業。今年は、ジュニア・リーダーが企画立案より参加し、南蔵王野営場を会場にチェックポイント・スコアオリエンテーリング、魚のつかみ取り、魚をさばいて焼いて食べる、自然のものを生かした工作、ゲームを行いました。入念な打ち合わせとコース下見を行い、開催までの準備が大変でしたが、当日は、天候に恵まれ、参加者もジュニア・リーダーも大きな感動を得ることができました。

###### ④各地区子ども会等の行事への派遣依頼

夏休みのレクリエーションやクリスマス会、歓送迎会等の子ども会行事への派遣依頼があり、会の運営やゲーム等の指導を行います。ほとんどの行事は、各学年一緒のため、指導の難しさがありますが、ジュニア・リーダーの熱意がすぐに子ども達に伝わり、大きな笑い声で会場がいっぱいになります。また、地区の運動会の手伝い、お寺を会場としたサマースクールでの宿題指導補助・きもだめし・ゲーム・運営等の補助を行いました。

##### (5) 自主企画

###### ジュニア・リーダーキャンプ

毎年恒例となった夏休みに行うジュニア・リーダー対象の1泊2日のキャンプ。テント設営撤収・野外炊飯・ダンス・ゲーム等の基本的な技術講習と意見交換により資質向上が図られています。ジュニア・リーダーの卒業生が指導に来てくれます。

5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

第一部 7月5日(土)		第二部 ①7月26日(土)		第二部 ②7月27日(日)	
時 間	活動内容	時 間	活動内容	時 間	活動内容
				6:00	起床・洗面清掃
				7:00	朝のつどい
				7:30	朝食・休憩
8:30	受付	8:30	受付	8:30	荷物整理・移動
8:35	開講式	8:35	結団式		
		8:40	出発 中央公民館		
9:00	子どもたちの生きる力を育むボランティア活動—ジュニア・リーダーの役割 講師：白石市教育委員会委員長	9:30	入所 自然の家	9:00	子どもの理解 講師：元中学校長
		9:40	であいのつどい		
		10:00	テントの設営と撤収 講師：ジュニア・リーダー		
10:30	レクリエーションの実技（ダンス・ゲーム等） 講師：ジュニア・リーダー			10:30	プログラム作成活動Ⅰ（自主企画） 講師：社会教育課職員 ジュニア・リーダー
12:00	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩
13:00	安全教育「救急法」 講師：日本赤十字社救急法指導員	13:00	創作活動（レクリエーション含む） 講師：ジュニア・リーダー	13:00	プログラム作成活動Ⅱ（子ども会活動） 講師：社会教育課職員 ジュニア・リーダー
14:30	宿泊研修打合せ（安全教育含む） 指導：ジュニア・リーダー	15:00	野外炊飯活動（夕飯）カレーライス 講師：ジュニア・リーダー	15:00	別れのつどい
16:00	終了・解散			15:10	出発 自然の家
				16:00	到着 中央公民館 閉講式
		17:00	夕食	16:10	解散
		18:30	ベッドメイキング		
		19:00	キャンプファイヤー 運営：ジュニア・リーダー		
		21:00	入浴・休憩		
		22:00	就 寝		

## 角田市のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

角田市のジュニア・リーダーは現在では珍しく高校生のみの構成である。昭和48年に宮城県主催のジュニア・リーダー研修会に参加した15名で発足し、昭和50年に現在の名称パフ・ボランティア・サークル（P. V. C）に改名、昭和53年に事務局を教育委員会内に移す。多い時期で50名を越す会員が所属していたが、現在は20名と減少傾向にあるため、平成21年度より従来の高校生のみの構成から中学生まで対象の枠を広げ、より一層活気ある活動を目指している。

名称にも使用されている「パフ」とは、子供と遊ぶことが大好きな空想上の動物を指し、パフはP. V. Cのマークにもなっている。

主な活動としては、定例会や育成会、子ども会などの派遣事業や市内小学校を回ってレクリエーション指導を行う自主企画「パフと遊ぼう会」などがあり、日々活発な活動をしている。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数（各年4月現在）

	平成16年度 計（男・女）	平成17年度 計（男・女）	平成18年度 計（男・女）	平成19年度 計（男・女）	平成20年度 計（男・女）
高校3年	17（7・10）	14（8・6）	6（1・5）	11（4・7）	6（0・6）
高校2年	12（7・5）	5（1・4）	12（3・9）	6（0・6）	9（0・9）
高校1年	5（1・4）	11（3・8）	6（0・6）	9（0・9）	5（2・3）
計	34（15・19）	30（12・18）	24（4・20）	26（4・22）	20（2・18）

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数（各年4月現在）

	平成16年度 計（男・女）	平成17年度 計（男・女）	平成18年度 計（男・女）	平成19年度 計（男・女）	平成20年度 計（男・女）
上級	11（4・7）	4（1・3）	4（1・3）	3（1・2）	1（0・1）
中級	4（2・2）	5（5・0）	6（0・6）	7（0・7）	8（1・7）
初級	18（8・10）	19（5・14）	14（3・11）	11（1・10）	9（0・9）

※角田市の初級研修会は新高校1年生（中学3年生）を対象に3月に行うため、初級取得者は次年度に加算している。



春のパフと遊ぼう会の様子

3 年間事業計画(平成20年度)

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/19 (土)	大河原管内J・L交流研修会実行委員会	交流研修会の企画検討会	白石市中央公民館
5/25 (日)	第1回J・L代表者会議	みやぎのJ・L大会についての話し合い	富谷町武道館
5月 ～6月	春のパフの遊ぼう会	小学生にレクリエーションの指導を行う(市内8小学校)	開催小学校体育館
6/21 (土)	ヤキヤキ	1年生主催による懇親会	角田市市民センター
6/29 (日)	総会	役員改選	角田市市民センター
7/12 (土) ～13 (日)	大河原管内J・L中級研修会	初級を取得した管内のJ・Lを対象に技術向上を図る研修会	蔵王自然の家
8/17 (日)	みやぎのJ・L大会	県内のJ・Lが集まる交流研修会	松島自然の家
10/12 (日)	J・L(高校生)技術研修会	高校生対象の研修会	宮城県青年会館
11月	秋のパフと遊ぼう会	小学生にレクリエーションの指導を行う(市内3小学校)	開催小学校体育館
11/9 (日)	角田丸森J・L交流会	交流を通して情報交換をしJ・Lの資質向上を図る	丸森町町民センター
11/30 (日)	J・L代表者会議	県内J・L代表が集まる会議	宮城県青年会館
12/25 (木) ～27 (土)	宮城県J・L上級研修会	県内の中級を取得したJ・Lの技術向上等のための合宿研修会	松島自然の家
2/11 (水)	大河原管内J・L交流研修会「アンパンマンとジャムおじさんズ」	大河原管内のJ・Lの資質向上と交流を目的とした研修会	白石市中央公民館
3月	ON THE SKY(おんだす会)	3年生の送別会	角田市市民センター
3月	初級研修会説明会	初級研修会へ向けての事前説明会	角田市市民センター
3/20 (金) ～21 (土)	角田市J・L初級研修会	J・Lになるための合宿研修会	角田市農村環境改善センター
3月	初級研修会修了式	初級修了者へ修了証及びJ・L委嘱状交付	角田市市民センター
通年	定例会(月1回)		
随時	子ども会などの派遣活動		
	パフと遊ぼう会, 子ども会などの派遣活動の練習・準備。		



## 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

### (1) 定例会

月1回土曜か日曜に市民センターの会議室を会場に10時から3時の間で開催。特に活動が盛んな時期は事業の反省と派遣活動や研修会などの調整を中心に行う。また、6月には3年生が引退するため総会において役員改選を行う。

### (2) 研修会

#### ①初級研修会（角田市教育委員会主催）

3月に2泊3日で農村環境改善センターを会場に行う（平成20年度より1泊2日）。ジュニア・リーダーになるための研修であり、現役ジュニア・リーダーの技術習得の場でもある。

#### ②中級研修会（宮城県教育委員会主催）

#### ③上級研修会（宮城県教育委員会主催）

#### ④技術研修会（宮城県子ども会育成連合会主催）

### (3) 交流会

#### ①みやぎのジュニア・リーダー大会（宮城県子ども会育成連合会）

#### ②大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー研修交流会（仙南2市7町）

#### ③角田丸森ジュニア・リーダー交流会（平成20年度は丸森町が会場）

交流を通して情報交換をし、ジュニア・リーダーとして資質向上を図ることを目的とする。

### (4) 教育委員会、子ども会育成会などが行う事業

#### ①姉妹都市栗山町子ども交歓の集い（角田市、角田市子ども会育成会主催）

北海道夕張郡栗山町との姉妹都市締結の翌年より、子供たちの健全育成と相互交流を目的に始まった事業で、夏休み期間中に隔年で派遣と受け入れを相互に行っている。角田市が栗山町を訪問する際には、小中学生の指導者としてジュニア・リーダーを派遣している。

#### ②子どもフェスティバル（角田市子ども会育成会主催）

子ども会の活動発表の場として2月に市民センター屋内運動場を会場に開催し、遊びの指導などをする。また、高校3年生（卒業生）ジュニア・リーダーに感謝状が贈られる。

#### ③子ども会などの派遣活動

子ども会などの派遣要請に応じて、レクリエーション指導などをする。

### (5) 自主企画

#### ①パフと遊ぼう会

市内9小学校の体育館を会場に、小学生にゲームやダンスなどレクリエーション指導を行う。教育委員会が小学校と日程調整をする以外、企画運営はすべてジュニア・リーダーが行う。

#### ②ヤキヤキ

1年生主催による懇親会

#### ③ON THE SKY（おんだす会）

3年生の送別会

5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成19年度）

1日目 3月29日（土）		2日目 3月30日（日）		3日目 3月31日（月）	
時間	活動内容	時間	活動内容	時間	活動内容
		6:00	起床 BB・洗面・清掃	6:00	起床 BB・洗面・清掃
		7:00	朝の集い	7:00	朝の集い
		7:30	朝食		ハンターGAME
		8:30	実技 「子ども会と安全教育」 ※普通救命講習 講師：角田消防署職員	8:00	朝食
				9:00	方法 「壁新聞をつくろう」 講師：J・L
		11:30	実技 「自然体験活動」 ※昼食も兼ねる 講師：角田市青年団体 連絡協議会	12:00	昼食
12:30	受付			13:00	方法 「おでんディスカッション」 講師：J・L
13:00	開会式 グループタイム				
14:00	理論 「子どものころ」 講師：市子ども会 育成会長	14:00	実技 「レクリエーション活動」 講師：J・L	14:30	大掃除・荷物整理
		15:00	理論 「子ども会のリーダー」 講師：J・L	15:00	反省会
15:30	方法 「プログラムのたて方」 講師：J・L			15:30	閉会式
17:00	夕べの集い	16:30	夕べの集い		解散
17:30	夕食	17:00	夕食		
			キャンドルの説明		
18:30	実技 「レクリエーション活動」 講師：J・L	18:30	実技 「キャンドルセレモニー」		
20:00	入浴・BM	20:00	入浴・BM		
21:00	反省会	21:00	反省会		
22:00	就寝	22:00	就寝		

BB=ベッドブレイキング

BM=ベッドメイキング

## 蔵王町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

蔵王町のジュニア・リーダーサークル「蔵王ボランティアサークルこだま（ZVCこだま）」は、昭和45年頃に結成され、子ども会育成会の指導のもと子供たちのリーダーとして活動を続けている。当初、会員は高校生のみで構成していたが、会員の減少等に伴い、平成17年から中学生が入会できることとなり、現在は中学生61名・高校生28名、合計89名が在籍している。

役員は、会長1名、副会長2名、書記1名、会計1名を総会において選出している。

月1回定例会を実施し、町内に5つある支部においては、必要に応じて支部会を実施している。町や町内各地区子ども会育成会の事業、単位子ども会の事業の際、子供たちの身近な指導者として子供たちをまとめ、地域の方々と一緒に子供たちの育成に努めている。事務局は蔵王町教育委員会生涯学習課内にある。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数（各年12月現在）

	平成16年度 計（男・女）	平成17年度 計（男・女）	平成18年度 計（男・女）	平成19年度 計（男・女）	平成20年度 計（男・女）
高校3年生	2（1・1）	20（3・17）	17（5・12）	0	11（4・7）
高校2年生	19（2・17）	21（7・14）	1（0・1）	11（4・7）	5（2・3）
高校1年生	18（7・11）	2（1・1）	12（4・8）	5（2・3）	12（2・10）
中学3年生	—	7（1・6）	5（1・4）	11（2・9）	13（6・7）
中学2年生	—	5（0・5）	10（2・8）	14（6・8）	38（15・23）
中学1年生	—	6（0・6）	7（3・4）	33（13・20）	10（8・2）
計	39（10・29）	61（12・49）	52（15・37）	74（27・47）	89（37・52）

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数（各年12月現在）

	平成16年度 計（男・女）	平成17年度 計（男・女）	平成18年度 計（男・女）	平成19年度 計（男・女）	平成20年度 計（男・女）
上級	0（0・0）	2（0・2）	0（0・0）	1（1・0）	1（1・0）
中級	9（1・8）	4（2・2）	2（0・2）	4（0・4）	4（0・4）
初級	10（3・7）	14（0・14）	20（8・12）	41（16・25）	49（20・29）

### 3 年間事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/19（土）	大河原管内J・L交流研修会 実行委員会	交流研修会の企画検討会	白石市中央公民館
4/20（日）	平成20年度総会	H19年度の報告とH20年度の 計画	蔵王町ふるさと 文化会館
5/25（日）	第1回J・L代表者会議	みやぎのJ・L大会についての 話し合い	富谷町武道館
7/5（土） ～6（日）	蔵王町J・L初級研修会	J・Lの基本となる知識・技術 等を学ぶための合宿研修会	蔵王自然の家
7/12（土） ～13（日）	大河原管内J・L中級研修会	初級を取得した管内のJ・Lを 対象に技術向上を図る研修会	蔵王自然の家
7/21（月）	蔵王町インリーダー合宿研修会 事前研修会	インリーダー合宿へ向けての 事前研修会	蔵王町ふるさと 文化会館
8/1（土） ～2（日）	蔵王町インリーダー合宿研修会	インリーダー対象の合宿研修会	蔵王自然の家
8/17（日）	みやぎのJ・L大会	県内のJ・Lが集まる研修会	松島自然の家
10/12（日）	J・L（高校生）技術研修会	高校生対象の研修会	宮城県青年会館
11/30（日）	第2回J・L代表者会議	県内J・L代表が集まる会議	宮城県青年会館
12/25（木） ～27（土）	宮城県J・L上級研修会	県内の中級取得J・Lの技術向 上等のための合宿研修会	松島自然の家
2/11（水）	大河原管内J・L交流研修会 祝日「アンパンマンとジャムおじさんズ」	大河原管内のJ・Lの資質向上 と交流を目的にした研修会	白石市中央公民館
2/15（日）	第33回蔵王町子ども会大会	町内の子供たちの交流を深める ことを目的とした事業	蔵王町ふるさと 文化会館
3/14（土）	J・L卒業生感謝の会	卒業生（高校3年生）を送る会	蔵王町ふるさと 文化会館
3/21（土） ～22（日）	蔵王町J・L総合研修会	1年間のJ・L活動についての まとめの研修会	蔵王自然の家
通 年	それぞれの地区・支部等において、子ども会活動活発化のため様々な活動を展開		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会【話し合い、行事の準備、ゲーム・ダンス等の練習会】（月1回） ※毎回定例会終了後、役員会（支部長・高校生）を実施</li> <li>・支部会（随時） 各支部において、地区子ども会育成会の事業等に合わせて実施</li> </ul>		
	「ジュニア・リーダーの談話室」（J・L新聞）の発行（年6回）		

#### 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

##### (1) 総会

年度初めに開催し、前年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算、役員改選等を行う。

##### (2) 定例会・支部会

毎月1回（おもに日曜日 午後1時～蔵王町ふるさと文化会館研修室等）定例会を開催。定例会開催時に次回の日程について相談し、できるだけ会員が集まりやすい日程を調整して実施している。連絡は、各支部長から会員へと連絡網で連絡している。

ここでは、ジュニア・リーダーが参加する事業や研修についての企画や準備、ゲームやダンスを指導するための練習を実施している。こうした活動を通して、会員同士の交流を図り、高校生会員から中学生会員へとジュニア・リーダーの伝統を受け継ぐ機会となっている。

また、町内5つの支部では、各地区児童館を拠点に児童厚生員の指導のもと、地区子ども会育成会の行事等に合わせて支部会を実施している。

##### (3) 町及び地区子ども会育成会，教育委員会等が行う少年教育事業

###### ①町子ども会育成会事業

・インリーダー合宿研修会…インリーダー（町内小学4～6年生）を対象にした研修会。

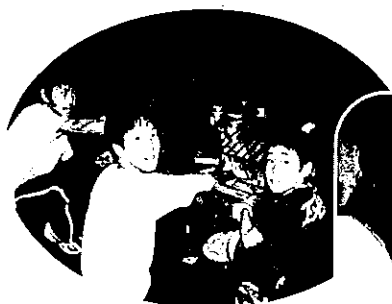
###### 平成20年度の様子

○参加者 インリーダー，J・L，蔵王町青年団体連絡協議会員，蔵王町青少年育成推進員育成会成人指導者，児童館児童厚生員，保健師，生涯学習課職員等 計89名

○日にち 8月1日（金）～2日（土）1泊2日

○会場 宮城県蔵王自然の家

○内容 三階滝までのハイキングや野外炊飯，キャンプファイヤー，竹笛作りなど蔵王の大自然を満喫する体験を通して，初めて会ったみんなもあつという間に仲間に。J・Lは，子ども達のリーダーとして班活動をまとめ，みんなで協力して安全で楽しい合宿にするために活躍した。



火起こしはまかせて！



キャンプファイヤーの感動の瞬間



蔵王に伝わる「土人・美人」が登場

・蔵王町子ども会大会…町内全小中学生を対象に、毎年内容を変えて実施。

#### 平成20年度の様子

- 参加者 小中学生、J・L、育成会成人指導者、児童館児童厚生員、生涯学習課職員等
- 日にち 2月15日(日)
- 会場 蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)
- 内容 午前中は、J・L企画の紙ヒコーキや立ち相撲大会を開催。  
昼食にあつあつの豚汁を食べたら、午後は町内5つの地区子ども会育成会とJ・Lが、それぞれ個性豊かな体験コーナーを開催。ペットボトルでボーリングや皿回し、ニュースポーツなどいろいろな体験をした。  
最後はJ・Lのゲームとダンスで、参加した子供はもちろん大人までみんなが一体となって盛り上がり、交流を深めた。

### ②地区子ども会育成会事業

各地区が地域の特色を生かして様々な事業を展開し、子供たちや子ども会の育成に努めている。

#### ○特色ある事業○

円田地区…親子たこあげ大会・親子レクリエーション大会

平沢地区…かかしまつり・ふるさと探検・スポーツ大会

永野地区…ふるさとハイキング・水辺の楽校・ふるさと伝承教室

宮地区…ナイトハイキング・夕涼み会・豆まき会

遠刈田地区…ふるさとフェスティバル・ドッジボール大会

※他団体との共催事業を含む。

### ③単位子ども会事業

町内64の単位子ども会が、工夫を凝らした事業を通して、地域内の子供たちの交流を深め、連携を図るために貢献している。

### (4) 研修会・交流会

ジュニア・リーダーとしての資質向上や技術等を学ぶため、下記のような各種研修会を実施。

#### ① J・L初級研修会Ⅰ(6月)…蔵王町子ども会育成会主催

1日の研修。蔵王町ふるさと文化会館で実施。サブリーダーや町青年会が指導する。

#### ② J・L初級研修会Ⅱ(7月)…蔵王町子ども会育成会主催

1泊2日の合宿研修会。ジュニア・リーダーの役割や安全教育など、基礎となる研修を実施。

#### ③ J・L中級研修会(7月)…宮城県教育委員会主催

#### ④ J・L上級研修会(12月)…宮城県教育委員会主催

#### ⑤ J・L交流研修会(2月)…仙南地区子ども会育成連合会主催

大河原教育事務所管内J・L企画・運営

#### ⑥ J・L総合研修会(3月)…蔵王町子ども会育成会主催

活動の1年間を締めくくる研修会。活動の中で今のジュニア・リーダーにとって必要と思われることや、初級等の研修会ではできなかったことを研修する。

#### ⑦中学生・高校生J・L技術研修会…宮城県子ども会育成連合会主催

5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

○研修Ⅰ 6月22日（日）蔵王町ふるさと文化会館		○研修Ⅱ【合宿第1日目】 7月5日（土）蔵王自然の家		○研修Ⅱ【合宿第2日目】 7月6日（日）蔵王自然の家	
時 間	活動内容	時 間	活動内容	時 間	活動内容
				6:00	起床・洗面・清掃
				7:00	【朝のつどい】
				7:30	【朝 食】
				8:30	『文化活動の意義 ・計画・実技』 ○児童館 児童厚生員
10:00	班別会議 ・班ごとの係を決める	9:00	文化会館 集合・出発		
		9:30	蔵王自然の家 到着 【出合いのつどい】		
11:30	【昼 食】 (各自お弁当持参)	10:00	『子どもの理解』 ○宮城県蔵王自然の家 研修支援班社会教育主事	11:30	【昼食】
12:30	『ゲーム説明』の仕方 ○サブリーダー	12:00	【昼 食】 (各自お弁当持参)	12:30	『安全教育』 ○平沢地区
13:30	『キャンプファイヤーの意義 と計画』 ○蔵王町青年団体 連絡協議会	13:00	『J・Lの役割』 (おでんディスカッション) ○教育委員会生涯学習課 派遣社会教育主事		子ども会育成会会長
		14:30	『スタンプ練習』 ○サブリーダー	14:30	【感想記入】
15:00	諸連絡・解散	15:00	『野外炊飯』	15:00	【別れのつどい】
				15:30	自然の家 出発
				16:00	文化会館 到着・解散
		18:00	『キャンプファイヤー』 ○蔵王町青年団体 連絡協議会		
		20:00	【入浴】		
		20:45	サブリーダー・班長会議		
		21:45	就寝		
		22:00	完全消灯		

## 七ヶ宿町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

七ヶ宿町では長年「青少年指導者研修」を開催してきた。これは、心身共に健やかで子供たちの直接的な指導者を育成することと、地域ボランティアとしての資質向上を目的とした研修会である。七ヶ宿町に育った若者全員にこの研修を受けてほしいので、中学1年生は原則全員参加としている。

ジュニア・リーダー初級研修も趣旨を同じくすることから、これを包括する。中学1年生は全員この初級研修を受講し、研修終了後に七ヶ宿町ジュニア・リーダーズサークルへの入会が認められる。

このサークルは平成10年に発足し、その会則のなかでボランティア精神に則り、自主性・創造性・社会性を学ぶことを目的としている。自己研修活動として、公民館事業や自主企画事業に積極的に参加している。なお、参加意志は定例会にて申込書によるものとし、参加者募集のお知らせには、宮城県教育委員会も参加を推奨しているということを明記し、保護者や学校にも参加に対する理解を促している。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数 (各年12月現在)

	平成16年度 計(男・女)	平成17年度 計(男・女)	平成18年度 計(男・女)	平成19年度 計(男・女)	平成20年度 計(男・女)
高校3年生	8 (4・4)	4 (0・4)	9 (5・4)	6 (3・3)	7 (5・2)
高校2年生	4 (0・4)	9 (5・4)	6 (3・3)	7 (5・2)	6 (3・3)
高校1年生	9 (5・4)	6 (3・3)	7 (5・2)	6 (3・3)	1 (1・0)
中学3年生	6 (3・3)	8 (5・3)	6 (3・3)	1 (1・0)	1 (0・1)
中学2年生	7 (5・2)	5 (3・2)	1 (1・0)	0 (0・0)	8 (6・2)
中学1年生	0 (0・0)	1 (1・0)	0 (0・0)	7 (5・2)	4 (1・3)
計	34 (17・17)	33 (17・16)	29 (17・12)	27 (17・10)	27 (16・11)

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数 (各年12月現在)

	平成16年度 計(男・女)	平成17年度 計(男・女)	平成18年度 計(男・女)	平成19年度 計(男・女)	平成20年度 計(男・女)
上級	3 (3・0)	1 (1・0)	3 (2・1)	1 (0・1)	0 (0・0)
中級	15 (4・11)	21 (9・12)	19 (10・9)	13 (7・6)	16 (10・6)
初級	16 (10・6)	11 (7・4)	7 (5・2)	13 (9・4)	11 (5・6)



公民館事業の支援をするJ・L



J・L初級研修でテントたてを習ってる



子ども会と共催事業で活躍



### 3 年間事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/13 (日)	総 会	年1回開催 会則の改正・予算・決算・事業計画 その他必要事項を審議	開発センター
5/10 (土)	春の農業体験 (公民館支援事業)	小4～小6までのわんぱく探検ス クール事業への支援で子どもたちの直接的な 指導をし、自らもスキルアップする	美里町
5/25 (日)	代表者会議	県内のJ・L代表者が集まる会議	富谷町武道館
6/29 (日) ～7/4 (金)	通学合宿 (公民館支援事業)	小4～小6までのわんぱく探検ス クール事業への支援で子どもたちの直接的な 指導をし、自らもスキルアップする	峠田公民館
7/6 (日)	技術研修会 (中学生対象)	県内の中学生J・Lを対象とした研修会	仙台市内
7/12 (土) ～7/13 (日)	大河原管内J・L中級研修会	JL初級研修会を終了した年少指導者 に、子ども会活動に必要な知識、技術、 態度等についての研修を行う	蔵王自然の家
事前研修 7/6 (日) 実地研修 7/26 (土) ～28 (月)	J・L初級研修会	子ども会活動の振興を図るために、子 ども会の直接的な指導者を育成すると共 に、地域ボランティアとしての資質の向 上を図る	開発センター 南蔵王青少年旅行村
8/5 (火) ～8/7 (木)	海の体験合宿 (公民館支援事業)	小4～小6までのわんぱく探検ス クール事業への支援で子どもたちの直接的な 指導をし、自らもスキルアップする	美里町 東松島市
8/8 (金) ～10 (日)	東北地区子ども会 J・L大会	東北地区のJ・Lが集まる研修会	山形県
8/17 (日)	みやぎのJ・L大会	県内のJ・Lが集まる研修会	松島青年の家
10/4 (土)	秋の農業体験 (公民館支援事業)	小4～小6までのわんぱく探検ス クール事業への支援で子どもたちの直接的な 指導をし、自らもスキルアップする	美里町
10/12 (日)	水守り人になろう！ (公民館支援事業)	小4～小6までのわんぱく探検ス クール事業への支援で子どもたちの直接的な 指導をし、自らもスキルアップする	ダム公園
10/12 (日)	技術研修会 (高校生対象)	県内の高校生J・Lを対象とした研修会	宮城県青年開館
12/13 (土)	クリスマス会	子ども会、J・L共催事業	開発センター
12/25 (木) ～27 (土)	宮城県J・L上級研修会	JL中級研修会を終了した年少指導者 に、子ども会活動の振興に質するため、 子ども会活動に必要な研修を行う	松島自然の家
2/8 (日)	第10回七ヶ宿雪合戦大会	子ども会、J・L共催事業	七ヶ宿スキー場
2/11 (水)	大河原管内J・L交流研修会	大河原管内のJ・Lの資質向上と交流 を目的とした研修会	白石市中央公民館
通 年	地区子ども会からの応援要請に応えるとともに、子ども会活動活発化のため様々な技術を磨く		
	定例会第2・4日曜日【ゲーム・ダンス等の練習会】（月2回） ※8月の定例会で役員改選		
	サークルメンバーのスキルアップを図るため、自分たちで企画・運営する自主的な研修を行う		

#### 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

##### (1) 総会・定例会

毎年4月に総会を開催し、前年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算案について協議する。定例会については、毎月2回、第2・第4日曜日を定例会の日とし、午前9時から開発センターにおいて開催している。

##### (2) 研修会

研修会としては、地区子ども会活動への支援・地域ボランティアとしての資質の向上と子ども会活動の振興のために初級研修会を町が実施している。中級・上級研修会は宮城県教育委員会主催事業で研修している。技術研修会については、宮城県子ども会育成連合会主催事業にて研修している。

##### (3) 交流会

みやぎのジュニア・リーダー大会(宮城県子ども会育成連合会主催事業)や管内ジュニア・リーダー交流事業においてジュニア・リーダー間の交流やスキルアップに励んでいる。

##### (4) 教育委員会への支援事業

公民館の青少年教育事業に関して、子ども会育成会が共催する大半の事業において、子供たちの直接的な指導者として活躍している。(年間事業計画に公民館支援事業として掲載)

##### (5) 子ども会育成会との共催事業

共催事業はクリスマス会と七ヶ宿雪合戦大会がある。開催までのおよそ2ヶ月間をかけて準備する。ジュニア・リーダーの主体性を存分に発揮し、プログラムから立案し、前日の準備、当日の運営まで自分たちで行う。対象は小学生であるが、雪合戦などは、ジュニア・リーダーが実際に対戦を行うことにより、小学生に分かりやすく説明している。達成感が大いに感じられる事業である。



ハイ！ チーズ！ 楽しいな！

5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

時 間	1日目 7月26日（土）	2日目 7月27日（日）	3日目 7月28日（月）
5:00	/		
6:00		起床, 朝の集い	起床, 朝の集い
6:30		実技講習⑤「野外炊飯」	実技講習⑩「野外炊飯」
7:00		朝食	朝食
8:00	事務局準備	後片づけ	後片づけ
8:30			
9:00	受付開始	実技講習⑥	実技講習⑪
9:20	開会式	「創作活動」	「自然体験活動」
9:30	オリエンテーション		
10:00	実技講習① 「テント設営」	(ダムは低学年25人)  (2つのプログラム有)	
11:00			
12:00	昼食(弁当)	昼食	昼食
13:00	実技講習② 「水辺での安全教育 (KYT)」	実技講習⑦ 「プログラム作成活動」	振り返りの時間
14:00			実技講習⑫ 「テント撤収・後片づけ」
15:00			
15:30	実技講習③「野外炊飯」	実技講習⑧「野外炊飯」	閉会式, 解散
16:00	夕食	夕食	/
17:00	後片づけ	後片づけ	
18:00			
18:30	実技講習④「夜間の安全教育 (ナイトハイク)」	実技講習⑨ 子ども会とレク活動 「キャンプファイヤー」 講師: SJLC「ぼっぼ組」	
19:00			
19:30	シャワータイム	シャワータイム	
20:00			
21:00	班長会議 振り返りの時間	班長会議 振り返りの時間	
21:30	消灯	消灯	

## 大河原町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

大河原町のジュニア・リーダーは中学1年生から高校3年生で構成され、現在30名が所属している。大河原町中央公民館を拠点として活動し、月2回の定例会も行っている。中央公民館には、ジュニア・リーダー専用のロッカーとプレハブ倉庫も設置されている。

大河原町のジュニア・リーダーは、昭和46年に県主催の第1回ジュニア・リーダー研修に参加した高校生が、「子ども会の役に立ちたい」という気持ちから「JBBS」という名称でジュニア・リーダーの組織を作った。後に名称を「JFSC」に変更して20年間、そして平成12年度に「大河原町ジュニア・リーダーサークル さくらっ子」に改め、現在に至っている。

ジュニア・リーダーとしての資質向上のために各種研修活動に参加し、身につけた知識と技術を駆使して地区子ども会行事の支援を行うとともに、教育委員会や子ども会育成会事業への協力、そして、わんぱくゲーム大会を主催し、町内の小学生との交流を進めている。



わんぱくゲーム大会 ごめんねジャンケン

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数 (各年12月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
高校3年生	10 (3・7)	1 (0・1)	1 (0・1)	1 (0・1)	12 (5・7)
高校2年生	2 (1・1)	1 (0・1)	1 (0・1)	13 (6・7)	2 (1・1)
高校1年生	1 (0・1)	5 (0・5)	13 (6・7)	2 (1・1)	1 (1・0)
中学3年生	7 (0・7)	14 (7・7)	3 (1・2)	4 (1・3)	1 (0・2)
中学2年生	22 (11・11)	4 (2・2)	1 (1・0)	2 (0・2)	8 (5・3)
中学1年生	6 (2・4)	9 (1・8)	6 (0・6)	9 (4・5)	5 (0・5)
計	48 (17・31)	34 (10・24)	25 (8・17)	31 (12・19)	30 (12・18)

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数 (各年12月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
上 級	7 (3・4)	1 (0・1)	5 (2・3)	8 (5・3)	6 (4・2)
中 級	4 (0・4)	9 (4・5)	4 (3・1)	3 (2・1)	3 (2・1)
初 級	29 (10・19)	22 (5・17)	12 (2・10)	14 (4・10)	18 (4・14)

### 3 年間行事計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/19 (土)	大河原管内 J・L 交流研修会 第2回全体打合せ	交流研修会の企画検討会	白石市中央公民館
5/25 (日)	第1回 J・L 代表者会議	みやぎの J・L 大会についての話し合い	富谷町武道館
6/8 (日)	大河原管内 J・L 交流研修会 第3回全体打合せ	交流研修会の企画検討会	白石市中央公民館
6/21 (土) ～22 (日)	J・L 初級研修会	J・L の技術等向上のための研修会	蔵王自然の家
6/28 (土) ～29 (日)	インリーダー研修会	インリーダーのための研修会	相馬海浜自然の家
7/6 (日)	J・L (中学生) 技術研修会	中学生対象の研修会	宮城県青年会館
7/12 (土) ～13 (日)	大河原管内 J・L 中級研修会	初級を取得した管内の J・L を対象とした合宿研修会	蔵王自然の家
6/17 (火)	インリーダー研修事前研修会	インリーダー研修へ向けての事前研修会	大河原町役場
8/6 (水) ～7 (木)	J・L キャンプ研修会	J・L の技術等向上のための研修会	相馬海浜自然の家
8/8 (金) ～10 (日)	東北地区子ども会 J・L 大会	東北の J・L が集まる研修会	山形県
8/17 (日)	みやぎの J・L 大会	県内の J・L が集まる研修会	松島自然の家
10/12 (日)	J・L (高校生) 技術研修会	高校生対象の研修会	宮城県青年会館
11/16 (日)	J・L ゲーム講習会	クリスマスに向けたゲーム講習	大河原町中央公民館
11/29 (土)	大河原管内 J・L 交流研修会 第4回全体打合せ	交流研修会の企画検討会	白石市中央公民館
11/30 (日)	J・L 代表者会議	県内 J・L 代表が集まる会議	宮城県青年会館
12/25 (木) ～27 (土)	宮城県 J・L 上級研修会	県内の中級を取得した J・L の技術向上を図るための合宿研修会	松島自然の家
2/8 (日)	わんぱくゲーム大会	J・L の企画によるゲーム大会	大河原町総合体育館
2/11 (水) 祝日	大河原管内 J・L 交流研修会 「アンパンマンとジャムおじさんズ」	大河原管内の J・L の資質向上と交流を目的とした研修会	白石市中央公民館
3/14 (土)	J・L 卒業生送別会	卒業生を送る会	大河原町中央公民館
3/28 (土)	J・L 説明会	J・L の活動に興味のある人たち対象の説明会	大河原町中央公民館
通 年	地区子ども会、放課後子ども教室からの要請に応じてお楽しみ会、クリスマス会、野外活動などの行事の手伝いを行なっている。		
	定例会【ゲーム・ダンス等の練習会】(月2回第二、四土曜日午後)		

#### 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

##### (1) 定例会

J・Lの活動を定める会議として「定例会」と「まるひ集会」をそれぞれ第2土曜日、第4土曜日の午後に、大河原町中央公民館で行っている。

各種研修会や教育委員会事業への協力要請についての打合せや、子ども会行事の指導のための準備、ゲームやダンスの練習なども行っている。

##### (2) 研修会

町や県、子連が行なう研修会。1泊2日、2泊3日といった日程で県の自然の家等で集中的に行っている。「J・Lの役割、子ども会の意義」などの講話、「キャンプファイヤー企画立案」「親子会レクリエーション企画立案」などの講義と実習、「テント設営・調理・飯盒炊飯」「ダンス、ゲーム、ソング、ニュースポーツ」といった実技研修をする。

- ① J・L初級研修会（大河原町教育委員会主催）…J・Lの基本を学ぶ。
- ② J・L中級研修会（宮城県教育委員会主催）…中学3年以上が受講するもの。
- ③ J・L上級研修会（宮城県教育委員会主催）…高校生が受講するもの。
- ④ 中学生、高校生J・L技術研修会（宮城県子ども会育成連合会主催）

##### (3) 交流会

他市町のJ・Lとの交流を目的に行われる活動で、教育事務所管内の交流会、県規模の交流大会、そして大河原町が独自で企画実施する交流会がある。

- ① 大河原教育事務所管内JL交流研修会（仙南2市7町）
- ② みやぎのJL大会（全県下）
- ③ 大河原町JL主催交流会（仙南2市7町など）

##### (4) 教育委員会、町子ども会育成会が行う少年教育事業

大河原町教育委員会や大河原町子ども会育成会協議会が行う少年教育事業に、小学生のサポート役として活躍している。

- ① インリーダー研修会（小学5・6年生対象の1泊2日の研修、運営全般）
- ② 南小学校放課後子ども教室（野外活動の際の支援）
- ③ 児童館まつり（ゲーム指導）
- ④ 合宿通学、わんぱくチャレンジキャンプなど（活動全般の支援）

##### (5) 子ども会行事への支援

地区子ども会活動の支援要請に応じて、会の進行、ゲームやダンスの指導を行う。

- ① 夏休み期間のキャンプ
- ② 12月のクリスマス会、お楽しみ会
- ③ 学年末の送別会

##### (6) JLサークル自主事業の実施

町内の小学生を対象に、ゲーム大会を企画、実施している。研修会で身に付けた知識や技術を活用し、子どもたちを楽しませるとともに、次の世代のジュニア・リーダーの発掘も意識している。

- ① わんぱくゲーム大会（2月開催）



初級研修会 キャンプファイヤー研修



地区子ども会のクリスマス会

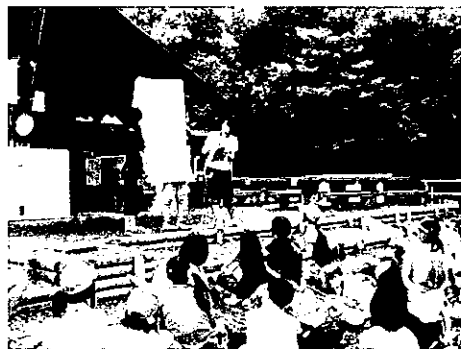
5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

1日目 6月21日（土）		2日目 6月22日（日）	
時 間	活動内容	時 間	活動内容
8:30	参加会員集合	6:00	起 床 清掃, 洗面
9:00	研修会開会 講師紹介 ジュニア自己紹介	7:00	朝のつどい（合同） 朝 食
9:10	出発	8:00	各部屋の点検
10:00	自然の家 着 であいのつどい（合同） 実習Ⅰ：レクリエーション活動（1.5） 『プログラムの作成』 講師：高校教諭（シニアOB）	8:30	実習Ⅳ：自然体験活動（1.5） テント設置, 撤去研修 講師：高校教諭（シニアOB）
12:00	昼食・休憩 実習Ⅱ：レクリエーション活動（1.5）	10:30	実習Ⅴ：レクリエーション活動（1.5） （ゲーム ダンス） 講師：高校教諭（シニアOB）
13:00	『プログラムの作成 発表』 講師：高校教諭（シニアOB）	12:00	昼食・休憩
14:30	実習Ⅲ：自然体験活動（1.5） 安全教育Ⅱ：安全指導（0.5） 『野外炊飯』 講師：自然の家職員	13:00	実習Ⅵ：自然体験活動（1.5） ハイキング 講師：自然の家職員
16:30	夕食～17:00	15:00	わかれのつどい（合同）
	片付け終了	15:30	自然の家 出発
17:30	宿舎移動	16:00	大河原町中央公民館着
17:50	中央ホール集合		反省会
18:00	ベッドメイキング		解 散
18:30	実習Ⅳ：自然体験活動（1.5）		
～19:45	キャンプファイヤー研修 講師：高校教諭（シニアOB）		
20:00	入 浴 ～20:30		
20:45	理論Ⅲ：シニアリーダーの役割（0.5） みんなで討論 講師：高校教諭（シニアOB）		
21:30	全体反省会		
21:45	就寝準備		
22:00	就 寝		

## 村田町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

村田町ジュニア・リーダーサークルMVC（マボック）は、昭和46年、町内の子ども会が明るく豊かな活動ができるよう、子ども会への指導と支援を目的に結成された。サークルの名称であるMVC（マボック）は村田町ボランティアサークルの頭文字からきているが、「マ：まずしくても、ボ：ぼろっちくても、ッ：つらくても、ク：くるしくても子ども達のために・・・」という意味が込められている。



大活躍！「マボック」ジュニア・リーダー

発足当初は高校生のみで構成され、60名前後いた。昭和50年後半から中学生も参加し、多いときで90名弱の組織となった。現在は中学1年生から高校3年生で構成され、現在17名が所属している。村田町中央公民館の2階にジュニア・リーダー専用の部屋を設け、活動の拠点としている。

どのジュニア・リーダーもいきいきと楽しんで活動しており、子ども会行事の派遣やキャンプ事業、自主研修会、各種発表会などを通し、目的を大事にした取組が展開され、主体性や行動力が育まれている。人数は減少傾向にあるものの、活動内容は多岐にわたっており活発である。子供たちに関わる職員も、子供たちの自主性を尊重しながら、学ぶべき部分はしっかりと研修機会を設けて学ばさせ、活動では存分に楽しませる配慮がなされている。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数（各年12月現在）

	平成16年度 計（男・女）	平成17年度 計（男・女）	平成18年度 計（男・女）	平成19年度 計（男・女）	平成20年度 計（男・女）
高校3年生	3（1・2）	3（1・2）	6（2・4）	4（1・3）	1（0・1）
高校2年生	4（2・2）	7（3・4）	4（1・3）	5（0・5）	2（1・1）
高校1年生	6（2・4）	4（1・3）	5（0・5）	2（1・1）	2（0・2）
中学3年生	4（1・3）	8（1・7）	2（1・1）	2（0・2）	3（1・2）
中学2年生	10（1・9）	2（1・1）	2（0・2）	3（1・2）	5（1・4）
中学1年生	1（0・1）	4（0・4）	2（1・1）	4（1・3）	4（2・2）
計	28（7・21）	28（7・21）	21（5・16）	20（4・16）	17（5・12）

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数（各年12月現在）

	平成16年度 計（男・女）	平成17年度 計（男・女）	平成18年度 計（男・女）	平成19年度 計（男・女）	平成20年度 計（男・女）
上級	2（2・0）	5（4・1）	3（2・1）	0（0・0）	2（0・2）
中級	6（2・4）	1（0・1）	3（0・3）	4（0・4）	3（0・3）
初級	18（2・16）	20（2・18）	15（3・12）	14（3・11）	12（5・7）



3 年間事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/27 (日)	初級研修会 (I期)	○講義「ジュニアリーダーの役割」「子ども会とは」 ○実技「子ども会とレクリエーション活動」 ○討議「村田町ジュニア・リーダーの活動について」 ○面接 面接官は先輩J・L、動機や目標などを発表	中央公民館
4/27 (日)	マボック総会	平成19年度活動報告・会計決算 平成20年度活動計画・予算案 役員改選、話し合い活動（仙南J・L交流会、定例会の持ち方、マボック新聞について）	中央公民館
6/ 1 (日)	わくわく ハイキング	小学生や保護者と共に谷山ハイキングコースを散策。 馬頭観音など史跡巡りをし、子ども達とゲームをする。	谷山ハイキング
7/12 (土) ～13 (日)	中級研修会	子ども会活動の指導者養成研修。管内の2市7町の 初級取得者J・Lが対象で、1泊2日で実施する。	蔵王自然の家
7/28 (月) ～29 (火)	初級研修会 (II期)	○講義「J・Lの役割」「安全に活動するために」「子 ども会とプログラム」○実技「テント設営」「飯ごう炊 飯」○講義「野外活動プログラムについて」○実技「レ クリエーション活動」○討議「夏の子ども村キャンプ について」	中央公民館 ほか
7/29 (金)	夏の子ども村キャン プ事前研修会	夏の子ども村キャンプの参加者を集め、グループ活 動やレクリエーションを行いキャンプに向けて団 結を深める。	町民体育館
8/ 6 (水) ～8 (金)	夏の子ども村 キャンプ	町内の小学生（1～6年生）を対象に2泊3日でキ ャンプを行う。J・Lがプログラムを計画し、準備 や当日の運営を手がける。	国立南蔵王 野営場
8/24 (日)	自主研修会	J・L内のレクリエーション、調理実習。	中央公民館
10/12 (日)	布袋祭 (山車の引き手)	山車の引き手になった子ども達へ引き方や声掛け の指導。自らも引き手として祭りを盛り上げる。	町内
11/ 9 (日)	秋季研修会 (自主研修)	マボック発表会の計画。	中央公民館
12/22 (月) ～23 (火)	冬季研修会	マボック発表会の準備、劇の練習を行う。	中央公民館
12/23 (火)	マボック発表会 (自主企画事業)	町内の子ども達及び保護者を集めて、劇やゲームな どを行う。（クリスマス会）	中央公民館
12/25 (木) ～27 (土)	上級研修会	子ども会活動の指導者の養成研修。県内の中級取得 者J・Lが対象で、2泊3日で実施する。	松島自然の家
2/ 8 (日)	春季研修会 (自主研修)	春の子ども村キャンプの計画を行う。	中央公民館
3/28 (土) ～29 (日)	春の子ども村 キャンプ	町内の小学生（1～6年生）を対象に1泊2日でキ ャンプを行う。J・Lがプログラムを計画し、準備 や当日の運営を手がける。	中央公民館
3月下旬	高校3年生を送 る会（おんだし会）	卒業生に感謝の気持ちを伝える送別会。	中央公民館
通 年	○定例会の開催(月1回)    ○マボック新聞の発行    ○子ども会行事の参加		

#### 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

##### (1) マボック総会（上半期・下半期）

活動の最高決議機関。年2回会長が招集し、事業報告、決算報告、事業計画、予算、役員改選などを審議する。

##### (2) 定例会

月に一度、活動計画や事業の打合せを行う。毎週第1日曜日に開催することとしているが、部活動などのため、なかなか全員集まることは難しく、連絡を取り合い開催している。



団結力抜群の明るく愉快的なメンバー

##### (3) 教育委員会が行う少年教育事業

###### ① わくわくハイキング

初夏の時期に行う小学生及び保護者が対象の事業で、地元の自然に親しみながら町内のハイキングコースを歩いたり、史跡巡りをしたりする。町内の歴史を学ぶなど、その年ごとに目的を設定し、楽しくハイキングを行う事業である。

ジュニア・リーダーは、参加した子供たちの掌握や健康状態の把握、安全確保等をおこない、昼食後の休憩時間などに皆が楽しめるゲームを行う。



休憩時は腕の見せ所。楽しいゲームで子供たちを盛り上げた。

###### ② 夏の子ども村キャンプ

8月上旬に2泊3日で実施する年間を通して一番大きな行事である。対象は1年生から6年生までの小学生。プログラム立案から準備・当日の運営まで、ジュニア・リーダーが中心となって行う。社会教育担当職員は町の少年教育の充実を目指すとともに、ジュニア・リーダー育成の観点から、具体的なアドバイスと、ときに厳しい指導をしながら事業を作り上げていく。

プログラムは、ジュニア・リーダーが計画し、テント設営、野外炊飯、沢登り、創作活動、キャンプファイヤーなどを行う。低学年が参加するという点で、健康面、情操面など様々な配慮を必要とする。前もって参加者を集めて事前研修会も実施し、ジュニア・リーダーが子供たちに目標を考えさせ、グループ活動やゲームを行うことで子供たちを団結させ、キャンプに対する意識を高めさせる。苦勞しながらも長い時間をかけて準備し、真剣に子供たちの事を考えて活動するため、ジュニア・リーダーにとって、とても達成感のある活動である。



「沢登り」自然の素晴らしさと安全指導



「野外炊飯」協力の大切さを子供たちに



「キャンプファイヤー」感動をプレゼント

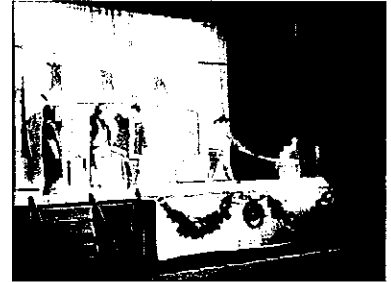
### ③ふるさとの祭り「布袋祭」

800年の伝統のある布袋祭で、大きな布袋様を乗せた山車の引き手を、担当者とともにジュニア・リーダーが山車の引き方や、掛け声の仕方、衣装の身につけ方などを指導する。

また、ジュニア・リーダーも一緒に山車を引きながら、引き手の小学生の掌握を務める。

### ④マボック発表会（自主企画事業）

クリスマスの時期に行う事業で、子供たちとその保護者を集めて、ゲームや演劇、創作活動、キャンドルサービスなどを行う。ジュニア・リーダーが自分たちでプログラム立案や劇の脚本作成を手がけ、役割をしっかりと果たそうとする責任感や自主性を養うことのできる事業である。



「協力」をテーマにした本格創作劇

### ⑤春の子ども村キャンプ

異年齢集団でのキャンプ生活を通し、仲間と協力し思いやりや自主性を培う事業で、小学1年生から5年生までが対象。6年生は中学入学を控えているので募集はしていない。夏の子ども村キャンプと同様にプログラム立案から準備、当日の運営まで、ジュニア・リーダーが行う。

中央公民館に宿泊し、町内のチェックポイントを回りながら子どもたちが自分で食材を購入し飯ごう炊飯を行ったり、工夫のある運動会やキャンドルサービスを行ったりする。

### ⑥高校3年生を送る会(おんだし会)

3月下旬に、ジュニア・リーダーを卒業する会員へ感謝の気持ちを込めてお別れ会を開催する。後輩ジュニア・リーダーが出し物を披露する。

## (4) 研修会

- ①初級研修会Ⅰ：1日の研修で、中央公民館で実施する。主にジュニア・リーダーの役割や活動、子ども会について学ぶ。先輩との面接もあり、動機や目標、決意等を発表する。
- ②初級研修会Ⅱ：1泊2日の研修会で中央公民館に宿泊しながらジュニア・リーダーの役割や、安全、プログラムの立て方などを学ぶ。また、実技として、テント設営や飯ごう炊飯の方法も学ぶ。
- ③秋季研修会：11月上旬に開催し、マボック発表会のプログラムづくりや活動の方向性を話し合う。
- ④冬季研修会：マボック発表会の前日に1泊2日で実施する。主にマボック発表会の準備や練習を行う。
- ⑤春季研修会：春の子ども村キャンプの準備や打合せを行う。
- ⑥中級研修会(宮城県教育委員会主催)  
中学3年生以上の初級修了者で、教育委員会が認めた者が受講資格を有する。
- ⑦上級研修会(宮城県教育委員会主催)  
中学3年生以上の中級修了者で、教育委員会が認めた者が受講資格を有する。
- ⑧自主企画研修：ジュニア・リーダーとして、プログラムの立て方やレクリエーションなどの必要な技術の習得を目的とし研修会を必要に応じて実施している。



意見をはっきり述べるのがマボック流

5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

研修Ⅰ		研修Ⅱ【合宿1日目】		研修Ⅱ【合宿2日目】	
4月27日(日) 村田町中央公民館		7月28日(月) 村田町中央公民館		7月29日(火) 村田町中央公民館	
時間	活動内容	時間	活動内容	時間	活動内容
8:40	受付	8:30	受講者集合・受付	6:30	起床・洗面
9:00	開講式 ①あいさつ(事務局長) ②自己紹介 ③日程説明	9:00	開講式 ①あいさつ(事務局長) ②自己紹介 ③日程説明・諸連絡	7:00	朝のつどい
9:30	オリエンテーション (教育委員会職員)	9:10	【講義①】 「J・Lの役割」 講師:教育委員会職員	7:30	朝食
10:00	【講義①】 「J・Lの役割」 講師:教育委員会職員	10:10	【講義②】 「安全に活動するために」 講師:教育委員会職員	8:30	館内清掃
11:00	【講義②】 「子ども会とは」 講師:教育委員会職員	11:10	【講義③】 「子ども会とプログラム」 講師:教育委員会職員	9:00	【実技④】 「レクリエーション活動」 講師:教育委員会職員
12:00	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩	10:10	【討議①】 「夏の子ども村キャンプ 全体会」
13:00	【実技①】 「子ども会と レクリエーション活動」 ○ゲーム ○ダンス講習 教育委員会職員, J・L	13:30	【実技①】 「野外活動の実際①」 (テント設営) 雨天:テントチェック グループワーク 講師:教育委員会職員	11:10	閉講式 ①J・L手帳交付 ②感想発表 ③閉会のあいさつ
14:00	【討議①】 「J・Lの活動について」 ○マボック総会 ○今後の活動の打合せ	16:00	【実技②】 「野外活動の実際②」 (飯ごう炊飯) 担当:社会教育班全員	12:00	昼食・休憩
15:30	【面接】 教育委員会職員 高校生J・L	17:30	後片付け, 休憩	13:30	「夏の子ども村キャンプ 事前研修会」 ○J・Lが中心となって運営 ○参加者の団結 ・グループ作り ・レクゲーム ・ダンス ・グループ旗づくり ○当日の日程説明
16:30	閉講式 ①感想発表 ②あいさつ	19:30	【実技③】 「野外活動の実際③」 (キャンプファイヤー) 講師:教育委員会職員	16:00	解 散
17:00	解散	21:00	反省会, 就寝準備		
		22:00	就寝		

## 柴田町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

柴田町のジュニア・リーダーサークル「かぐや姫」は、昭和47年に発足した。中学1年生から高校3年生で構成され、現在31名が所属している。ジュニア・リーダーサークル専用の部屋は設けていないが、町の中心部に位置する船迫公民館で、毎月1～2回の定例会を開催している。最近では少子化等の影響もあり、会員数が減少している。

しかし、会員数が減少しても、子ども会行事への派遣、自主企画事業、その他さまざまな事業を通して、どの会員もいきいきと活動している状況である。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダー会員数 (各年4月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
高校3年生	8 (5・3)	4 (0・4)	4 (1・3)	3 (2・1)	2 (0・2)
高校2年生	5 (1・4)	4 (1・3)	3 (2・1)	2 (0・2)	1 (0・1)
高校1年生	10 (3・7)	3 (1・2)	8 (3・5)	1 (0・1)	4 (0・4)
中学3年生	4 (2・2)	12 (5・7)	4 (1・3)	5 (0・5)	15 (1・14)
中学2年生	25 (8・17)	4 (1・3)	4 (0・4)	19 (2・17)	7 (0・7)
中学1年生	20 (4・16)	4 (0・4)	22 (3・19)	10 (0・10)	2 (0・2)
計	72 (23・49)	31 (8・23)	45 (10・35)	40 (4・36)	31 (1・30)

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数 (各年4月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
上級	7 (4・3)	3 (0・3)	2 (1・1)	2 (0・2)	2 (0・2)
中級	7 (3・4)	1 (0・1)	5 (1・4)	2 (1・1)	4 (0・4)
初級	32 (10・22)	21 (6・15)	38 (5・33)	26 (1・25)	22 (1・21)



ジュニア・リーダーお花見会

3 年間事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/6(日)	ジュニア・リーダー説明会	新入会会員を勧誘する	船岡公民館
4/13(日)	ジュニア・リーダーお花見会		船迫生涯学習センター
5/18(日)	平成20年度総会	平成19年度の報告と平成20年度の計画について	船迫公民館
5/25(日)	県子連ジュニア・リーダー代表者会議	みやぎのジュニア・リーダー大会についての話し合い	宮城県青年会館
6月	大河原管内ジュニア・リーダー交流研修会全体打ち合わせ会議		白石市中央公民館
7/6(日)	ジュニア・リーダー（中学生）技術研修会	中学生対象の研修会	宮城県青年会館
7/12(土)～13(日)	大河原管内ジュニア・リーダー中級研修会 ※高校1・2年生より参加	初級を取得した管内のジュニア・リーダーを対象に技術向上を図る合宿研修会	蔵王自然の家
8/6(水)～8/8(金)	姉妹友好都市シニア・リーダー研修交流会	伊達市，新地町，亶理町，山元町，柴田町のジュニア・リーダーの研修交流	柴田町蔵王自然の家
未定	柴田町ジュニア・リーダー初級研修会 ※新入会員必須	ジュニア・リーダーの技術等向上のための合宿研修会	蔵王自然の家
8/16(土)～17(日)	みやぎのジュニア・リーダー大会	県内のJ・Lが集まる研修会 ※実行委員のみ宿泊	松島自然の家
10/12(日)	ジュニア・リーダー（高校生）技術研修会	高校生対象の研修会	宮城県青年会館
10/26(日)	柴田町インリーダー研修会	小学5年生を対象とした研修	船迫生涯学習センター
10/29(水)～11/1(土)	わくわくチャレンジ合宿通学への支援	小学生36人に対する炊飯活動等の指導	船迫生涯学習センター 太陽の村
11月	大河原管内ジュニア・リーダー交流研修会全体打ち合わせ会議		白石市中央公民館
11/30(日)	県子連ジュニア・リーダー代表者会議	県内ジュニア・リーダー代表が集まる会議	宮城県青年会館
12/25(木)～27(土)	宮城県ジュニア・リーダー上級研修会	中級を取得したジュニア・リーダーを対象に上級の技術を習得するための合宿研修会	松島自然の家
2/11(水) 祝日	大河原管内ジュニア・リーダー交流研修会「アンパンマンとジャムおじさんズ」	大河原管内のJ・Lの資質向上と交流を目的とした研修会	白石市中央公民館
3月末	卒業生を送る会		船迫公民館
通 年	定例会，サブ定例会（毎月1～2回，土日に開催，場所は船迫公民館ほか） ※定例会日時は，会員が集まりやすい日程を設定		
	レクゲーム・レクダンスの習得（船迫公民館） ※定例会時に練習時間を設ける。		
	地区子ども会育成会，単位子ども会などの活動支援（派遣依頼）		
	自主企画事業の実施（日時及び場所は未定） ※定例会で内容等を話し合う。		

## 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

### (1) 定例会

ジュニア・リーダー活動の大半を占めているのが「定例会」である。毎月1～2回のペースで行われている会合である(土・日曜日、おもに船迫公民館で開催)。

ここでは、子ども会行事でレクリエーションをするための打ち合わせや、教育委員会などが行う少年教育事業のお手伝いをする際の打ち合わせなど、実際に現場に出て行って活動するための練習の場である。ジュニア・リーダーは、この定例会の場で、いわゆる“しゃべり”やレクリエーション技術のレベルアップをお互い確認しあっている。

### (2) 研修会

県や町が主催する公的な研修会である。2泊3日などの日程で自然の家等で実施している。「ジュニア・リーダーの心構え」や「子どものこころ」「プログラムの立て方」などの講義や、野外活動の体験など、ジュニア・リーダーのレベルアップをサポートしている。

- ①ジュニア・リーダー初級研修会(柴田町教育委員会主催)…ジュニア・リーダーの基本を学ぶ必須の研修
- ②ジュニア・リーダー中級研修会(宮城県教育委員会主催)…初級を取得した高校1年生ジュニア・リーダーを受講させている
- ③ジュニア・リーダー上級研修会(宮城県教育委員会主催)…中級を取得した高校2年生ジュニア・リーダーを受講させている
- ④中学生、高校生ジュニア・リーダー技術研修会(宮城県子ども会育成連合会主催)  
⇒宮城県青年会館(仙台市宮城野区幸町)で開催

### (3) 交流会

主に他市町村で活動しているジュニア・リーダーとの交流を目的に行われる活動で、公的に行われるものと、それぞれのジュニア・リーダーサークルが自主的に行っているものに区分される。

#### ①姉妹友好都市シニア・リーダー研修交流会

(北海道伊達市、福島県新地町、亘理町、山元町とのジュニア・リーダー交流会)

#### ②大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会

(仙南2市7町のジュニア・リーダーの交流会)

※このほか、大河原町など近隣市町村ジュニア・リーダーサークルが企画している交流会にも参加している。



姉妹友好都市シニア・リーダー研修交流会

(4) 教育委員会、子ども会育成会が行う少年教育事業

柴田町教育委員会や柴田町子ども会育成会連絡協議会が行う少年教育事業。主に小学生のサポートとしても活躍している。

- ①わくわくチャレンジ合宿通学(子供たちの食材の買い物・夕食作りのサポート)
- ②柴田町インリーダー研修会(小学校5年生対象の研修で、レクリエーション指導)



わくわくチャレンジ合宿通学

(5) 子ども会行事への支援

地区子ども会活動等への派遣要請に応じて、子供たちに対し、レクリエーションゲームの指導を行っている。

(6) ジュニア・リーダーサークル自主企画事業の実施

実際に企画段階から自分たちで話し合い、小学生を対象としたレクリエーション・イベントを行っている。研修会で習った事や日ごろのレクリエーション練習の成果が問われる事業である。平成20年度は、2月1日に「ぶんぶん節分」というイベントを行い、節分にちなんだ“恵方巻”作りや豆まき大会、ブース活動を行い、多くの小学生が参加してくれた。近隣市町のジュニア・リーダーが「自分たちの町でもやってみたいので、ぜひメンバーとして参加したい」ということで、他市町ジュニア・リーダーのモデル的事業にもなっているようである。



自主企画「ぶんぶん節分」



5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成19年度）

1日目：8月2日(木)		2日目：8月3日(金)		3日目：8月4日(土)	
時間	活動内容	時間	活動内容	時間	活動内容
8:00	槻木生涯学習センター 集合・出発	6:00	起床・洗面・清掃	6:00	起床・洗面・清掃
8:15	船岡公民館集合・出発	7:00	朝のつどい	7:00	野外炊飯(スピード朝食)
8:30	船迫生涯学習センター 集合・出発	7:30	朝食・休憩(食堂)		
		8:30	※宿舎から山小屋へ荷物移動 方法 おでんディスカッション 講師 生涯学習課職員	8:30	荷物整理・移動
9:30	蔵王自然の家入所・受付			9:00	実技 子ども会と安全教育 講師 生涯学習課職員
9:45	であいのつどい(開講式)	9:45	理論 プログラムの立て方 キャンプファイヤーのプログラムづくり 講師 生涯学習課職員		
10:00	オリエンテーション ・自然の家利用方法 ・日程説明 ・班別会議・部屋別会議			10:00	実技 自然体験活動③ スコアオリエンテーリング 指導 高校生リーダー ※雨天時＝創作活動(焼き杉)
12:00	昼食(持参弁当)	12:00	昼食(食堂)	12:00	昼食(キャンプ場弁当)
13:30	理論 子どものこころ 講師 大河原教育事務所 教育班次長	13:00	実技 レクリエーション活動② スタンプ練習 指導 高校生リーダー	13:00	修了証交付式
15:00	理論 ジュニア・リーダーの役割 講師 生涯学習課職員	15:00	実技 自然体験活動① 野外炊飯(カレーライス) 指導 高校生リーダー	13:15	わかれのつどい・閉講式
16:30	班別会議・部屋別会議			13:30	蔵王自然の家退所
17:00	夕べのつどい	17:00	夕食・片付け	14:30	柴田町到着・解散予定
17:30	夕食・休憩(食堂)				
18:30	実技 レクリエーション活動① レクゲーム・ダンスの特訓 指導 高校生リーダー	18:30	実技 自然体験活動② キャンプファイヤー スタンプ 指導 高校生リーダー		
20:30	班反省会・高校生リーダー打合せ	20:30	班反省会・高校生リーダー打ち合わせ		
21:00	入浴・休憩	21:00	入浴・休憩		
22:00	消灯・就寝	22:00	消灯・就寝		

## 川崎町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

川崎ジュニア・リーダーP・T・Eは、約35年前から活動している歴史のあるジュニア・リーダーサークルである。以前には60名近くの会員が所属していた時期もあったが、現在の会員は、中学生7名、高校生20名の計27名となっている。

名前の「P・T・E」とは、「P」=please (謙虚), 「T」=thank-you (感謝), 「E」=excuse-me (謙遜) の単語の頭文字をとったもので、「人との礼儀を大切にしていきたい」という思いがこめられている。

主な活動は、町教育委員会主催の小学生の交流キャンプや公民館お泊り生活などの支援、クリスマス会などの自主企画を主催し、町内の小学生との交流を図っている。今後も活動を広げ、町民から必要とされるようなジュニア・リーダーサークルにしていきたいと会員一同頑張っている。

### 2 ジュニア・リーダーの会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数 (各年7月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
高校3年生	0 (0・0)	3 (0・3)	0 (0・0)	0 (0・0)	3 (3・0)
高校2年生	3 (0・3)	6 (0・6)	0 (0・0)	3 (3・0)	4 (4・0)
高校1年生	6 (0・6)	0 (0・0)	4 (4・0)	4 (4・0)	0 (0・0)
中学3年生	0 (0・0)	8 (5・3)	4 (4・0)	1 (1・0)	15 (10・5)
中学2年生	6 (4・2)	3 (3・0)	1 (1・0)	13 (5・8)	4 (1・3)
中学1年生	3 (3・0)	0 (0・0)	2 (1・1)	4 (1・3)	1 (1・0)
計	18 (7・11)	20 (8・12)	11 (10・1)	25 (14・11)	27 (19・8)

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数 (各年7月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
上級	0 (0・0)	1 (0・1)	0 (0・0)	0 (0・0)	0 (0・0)
中級	3 (0・3)	2 (0・2)	0 (0・0)	2 (2・0)	2 (2・0)
初級	12 (5・7)	15 (8・7)	11 (10・1)	22 (11・11)	21 (13・8)



「小学生サマーキャンプ」



「公民館お泊まり生活」



「クリスマス会」

### 3 年間事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
5/11（日）	第1回 定例会	年間事業打合せ	川崎町公民館
6/22（日）	第2回 定例会	初級研修会打合せ・準備	川崎町公民館
6/28（土） ～29（日）	ジュニア・リーダー初級研修会	J・Lに必要な基本的な知識や技術を学ぶ1泊2日の研修会	川崎町公民館 笹谷キャンプ場
6/6（日）	ジュニア・リーダー（中学生） 技術研修会	県内の中学生J・Lが集まり、 技術向上を図る県子連の研修会	宮城県 青年会館
7/12（土） ～13（日）	大河原管内 ジュニア・リーダー中級研修会	初級を取得した管内のJ・Lを対象に 技術向上を図る合宿研修会	蔵王自然の家
7/22（月）	第3回 定例会	サマーキャンプ打合せ・準備	川崎町公民館
7/29（火） ～31（木）	小学生サマーキャンプ	町の教育委員会が2泊3日 で行う小学生キャンプの支援	セントメリー スキー場
8/16（土） ～17（日）	みやぎのジュニア・リーダー大会	県内のJ・Lが集まる県子連 主催の研修会	松島自然の家
8/17（日）	第4回 定例会	公民館お泊まり生活打合せ	川崎町公民館
9/19（金）	めっちゃイケ体験！ 公民館お泊まり生活	レクゲームやキャンドル セレモニーの実施	川崎町公民館
10/12（日）	ジュニア・リーダー（高校生） 技術研修会	県内の高校生J・Lが集まり 技術向上を図る県子連の研修会	宮城県 青年会館
11/23（日）	第5回 定例会	クリスマス会打合せ	川崎町公民館
12/21（日）	ジュニア・リーダー クリスマス会の準備	クリスマス会準備	川崎町公民館
12/23（火）	ジュニア・リーダー クリスマス会	クリスマス会の実施	川崎町公民館
12/25（木） ～27（土）	宮城県 ジュニア・リーダー上級研修会	中級を取得したJ・Lを対象に 技術向上を図るための合宿研修会	松島自然の家
1/18（日）	第6回 定例会	管内交流会打合せ	川崎町公民館
2/11（水）	大河原管内 ジュニア・リーダー交流研修会	大河原管内のJ・Lの資質向上と 交流を目的とした研修会	白石市 中央公民館
3/21（土）	第7回 定例会	反省会と次年度計画打合せ	川崎町公民館

## 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

### (1) 定例会

各事業の実施前に定例会を開催し、事業の計画や準備等を行う。

会議参集の連絡や日程調整等は、ジュニア・リーダーが行う。

### (2) 研修会

#### ①初級研修会

1泊2日の日程で実施している。ジュニア・リーダーとして活動するために必要な基本的な知識や技術の習得、地域青少年ボランティアとしての資質の向上を図ることをねらいとしている。平成20年度は、公民館とセントメリースキー場を会場として行い、2名が初級の認定を取得した。

毎年、ジュニア・リーダーOB・OGによる講義や技術指導の協力をいただいている。

#### ②中級研修会（宮城県教育委員会主催）

#### ③上級研修会（宮城県教育委員会主催）

#### ④技術研修会（宮城県子ども会育成連合会主催）



「初級研修会」

### (3) 教育委員会が行う事業

#### ①小学生サマーキャンプ

このキャンプは、参加した小学生の子供たちが、相互交流の中から「自然」そして「人と人との出会い」の素晴らしさを発見するとともに、地域社会を担うことができる情操豊かな子供たちの育成を図ることをねらいとして、2泊3日で実施している。

平成20年度は、町内の小学生4年生から6年生までの54名が参加した。

子供たちの班ごとにジュニア・リーダーも分かれ、終始その子供たちと行動をともにしている。ジュニア・リーダーOB・OGの協力もいただいている。

#### ②めっちゃイケ体験！公民館お泊まり生活（合宿通学）

この合宿は、子供たちが家庭を離れて町公民館から通学し、異年齢集団での共同生活を通して、基本的な生活習慣の必要性や、親の存在感、家庭の大切さをあらためて認識してもらうこと、子供たちの自主性を伸ばさせ豊かな人間を育成することをねらいとして実施している。

平成20年度は4泊5日で行い、小学4年生から6年生までの17名が参加した。

ジュニア・リーダーは、最終日前日の夕方にキャンドルセレモニーやレクゲームを行い、参加した子供たちの思い出づくりにひと役かっている。

### (4) 自主事業

#### ①ジュニア・リーダークリスマス会

自主企画事業として、子供たちの思い出づくりに取り組むとともに、ジュニア・リーダーとして習得した技術の実践の場となっている。

平成20年度は83名の園児や小学生が参加し、ジュニア・リーダーと楽しいひとときを過ごした。

5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

第1日目 6月28日（土）			第2日目 6月29日（日）		
時間	活動内容	場所	時間	活動内容	場所
8:20	集合・受付（保険証コピー提出）	公民館	6:00	起床・洗面・朝食準備	スキー場
8:45	開講式・オリエンテーション		7:00	朝食・後片付け，荷物整理	
9:00	グループミーティング		8:00	<実技4> 「テント撤収の仕方」	
10:00	<理論1> 「子どもの理解・ 子ども会と活動方法」 講師：生涯学習課		9:00	<理論3・実技5> 「安全教育・救急法」 講師：救急指導員	
11:00	<理論2> 「ジュニア・リーダーとは？ ジュニア・リーダーの役割・ 心得」 講師：J・L O G		10:30	<実技6> 「レクリエーション活動」 講師：J・L O G	
12:00	昼食（弁当）・休憩，荷物確認		11:30	昼食作り（焼そば）	
13:00	会場移動（公民館→笹谷） 荷物の整理	スキー場	12:30	昼食・後片付け	
14:00	<実技1> 「テント設営」ドーム型 講師：生涯学習課		13:30	清掃活動	
15:00	<実技2> 「野外炊飯活動」 かまど作り カレー作り，飯ごう炊飯		14:30	会場移動（笹谷→公民館）	公民館
17:00	夕食・休憩，後片付け		15:00	閉講式	
19:00	<実技3> 「キャンプファイヤー」の進め方 *雨天：キャンドルセレモニー	駐車場	16:00	解散	
21:00	入浴・フリータイム・就寝準備	るぼぼ			
22:00	就寝	テント			

## 丸森町のジュニア・リーダー活動

### 1 ジュニア・リーダーの紹介

丸森町では、昭和46年にジュニア・リーダー制度を導入、昭和52年に「あぶくまボランティアサークル」を会員32名で結成した。その後、昭和56年に「かっこボランティアサークル」と改称し、現在まで町子ども会育成会の指導のもと、活動を続けている。

活動内容については、月2回の定例会を実施し、丸森町ジュニア・リーダーの技術や知識を伝達しつつ、新しいものを積極的に取り入れて努力している。単位子ども会や町育成会事業でのゲームやレクリエーション指導等で多数の子どもたちを対象に、日頃の成果を発揮して事業を成功させている。この他、一人暮らしの高齢者にバースデーカードを作成して郵送したり、障害者との「クリスマス会」でのレクリエーションを指導するなどして、福祉ボランティアとしても活躍している。

### 2 ジュニア・リーダー会員数、各級取得者数の推移

#### (1) ジュニア・リーダーの会員数 (各年12月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
高校3年生	7 (1・6)	18 (4・14)	24 (6・18)	14 (2・12)	19 (4・15)
高校2年生	18 (4・14)	24 (6・18)	14 (2・12)	19 (4・15)	20 (5・15)
高校1年生	24 (6・18)	14 (2・12)	19 (4・15)	20 (5・15)	31 (5・26)
中学3年生	14 (2・12)	19 (4・15)	20 (5・15)	31 (5・26)	15 (1・14)
中学2年生	19 (4・15)	20 (5・15)	31 (5・26)	14 (1・13)	25 (3・22)
中学1年生	11 (2・9)	16 (3・13)	8 (1・7)	22 (3・19)	15 (7・8)
計	93 (19・74)	111 (24・87)	116 (23・93)	120 (20・100)	125 (25・100)

#### (2) ジュニア・リーダー研修における各級の取得者数 (各年12月現在)

	平成16年度 計 (男・女)	平成17年度 計 (男・女)	平成18年度 計 (男・女)	平成19年度 計 (男・女)	平成20年度 計 (男・女)
上級	3 (1・2)	3 (1・2)	0 (0・0)	2 (1・1)	9 (2・7)
中級	8 (0・8)	14 (3・11)	18 (3・15)	21 (3・18)	10 (2・8)
初級	80 (19・61)	92 (20・72)	96 (20・76)	96 (16・80)	105 (21・84)

### 3 丸森町ジュニア・リーダー事業計画（平成20年度）

期 日	事 業 名	内 容	会 場
4/19（土）	大河原管内ジュニア・リーダー 交流研修会実行委員会	交流研修会の企画検討会	白石市中央公民館
5/25（日）	定期総会	平成19年度の報告と平成20年 度の計画について	丸森町中央公民館
5/25（日）	第1回ジュニア・リーダー 代表者会議	みやぎのJ・L大会についての 話し合い	富谷町武道館
7/12（土） ～13（日）	大河原管内ジュニア・リーダー 中級研修会	仙南地区の初級を取得したJ・ Lを対象に、中級の技術を習得 するための研修会	蔵王自然の家
7/31（木） ～8/2（土）	ジュニア・リーダー初級研修会	J・Lの初級の技術を習得する ための研修会	相馬海浜の家
8/6（水） ～8（金）	山の子キャンプ	小学生対象のキャンプの指導	不動尊公園 キャンプ場
8/17（日） ～18（月）	サマーキャンプ	先輩ジュニアから後輩ジュニア への技術の伝達	不動尊公園 キャンプ場
8/17（日）	みやぎのジュニア・リーダー大会	県内のJ・Lが集まる研修会	松島自然の家
10/12（日）	ジュニア・リーダー（高校生） 技術研修会	高校生対象の研修会	宮城県青年会館
11/9（日）	角田・丸森ジュニア・リーダー 交流会	角田市のジュニア・リーダーと の交流会	丸森町中央公民館
12/23（火）	丸森町心身障害者クリスマス会	心身障害者対象のクリスマス会 の指導	あぶくま荘
12/25（木） ～27（土）	宮城県ジュニア・リーダー 上級研修会	県内の中級を取得したJ・Lを 対象に、上級の技術を習得する ための研修会	松島自然の家
2/11（水） 祝日	大河原管内ジュニア・リーダー 交流研修会	仙南地区のJ・Lの資質向上と 交流を目的に研修する	白石市中央公民館
通 年	それぞれの地区において、子ども会活動活発化のため様々な活動を展開。		
	定例会【ゲーム・ダンス等の練習会、一人暮らしの老人へのバースデーカード作成等】 （月2回：第2、第4日曜）		

#### 4 ジュニア・リーダーが関わる事業

##### (1) 総会

年度初めに開催し、前年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算、役員改選等を行う。

##### (2) 定例会

毎月2回、(第2, 第4日曜日)午後1時～5時、丸森町町民センターにおいて開催。定例会では、各事業や研修会の企画や準備、派遣依頼の打ち合わせ、ゲームやダンスを指導するための練習などを行っている他、1人暮らしの高齢者にバースデーカードを作成し、誕生日に送付している。

##### (3) 町及び地区子ども会育成会、教育委員会等が行う少年教育事業

###### ①山の子キャンプ

町内の小学生5・6年生を対象にしたキャンプ。(平成20年度は2泊3日)ジュニア・リーダーは指導者として参加し、日頃の研修で身につけた技術や知識を発揮し指導する。(平成20年度は小学生参加者48名、指導ジュニア・リーダー10名)

##### (4) 子ども会行事への支援

地区子ども会育成会や単位子ども会活動への派遣依頼に応じて、夏レクリエーション、お楽しみ会、歓送迎会、クリスマス会等において、レクリエーションの指導を行っている。

##### (5) 研修会

###### ①初級研修会(丸森町教育委員会主催)

7月下旬～8月上旬に2泊3日で相馬海浜自然の家を会場に行う。現役ジュニア・リーダーも指導にあたる。

###### ②中級研修会(宮城県教育委員会主催)

###### ③上級研修会(宮城県教育委員会主催)

###### ④技術研修会(宮城県子ども会育成会連合会主催)



初級研修会

##### (6) 交流会

###### ①みやぎのジュニア・リーダー大会(宮城県子ども会育成会連合会主催)

###### ②大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会(仙南2市7町)

###### ③角田丸森ジュニア・リーダー交流会(平成20年度は丸森町が会場)

##### (7) 自主企画

###### ①サマーキャンプ

先輩ジュニア・リーダーが後輩ジュニア・リーダーに、キャンプを通して技術の伝達を行う。



サマーキャンプ



5 ジュニア・リーダー初級研修会日程表（平成20年度）

	7月31日（木）	8月1日（金）	8月2日（土）
6：00	/	起床 寝具の整理・洗面	起床・寝具の整理 清掃・洗面
6：45～6：55		朝のつどい	
7：00～7：30		清掃	（シーツ・枕カバーを まとめてリネン室へ）
7：30～（予定）		朝 食	
9：00～11：50	10：30 入所 入所のつどい ・オリエンテーション ・アイスブレイキング ・班編成 ・役割分担	【講義・演習】 『安全教育』 【講義・演習】 『プログラムの立て方』	【講義・演習】 創作活動 『ペーパーサート』
12：00～（予定）	昼 食		
13：20～16：30	【講義・演習】 『子供の理解』 『ゲームの指導方法』 『子ども会活動事例』	【実技】 『ウォークラリー』 ※雨天時 『ニュースポーツ』	退所準備 『感想文作成』 13：00～ 退所のつどい 14：00～ 14：30 退所
16：40～16：50	夕べのつどい		/
17：20～（予定）	夕 食		
19：00～20：30	【実技】 『レクリエーション』 ・ゲーム ・レクダンス	【実技】 『キャンプファイヤー』  ※雨天時 『キャンドルサービス』	
20：30～（予定）	入浴 就寝準備		
22：00	消灯・就寝		



ジュニア・リーダー  
中級研修会 上級研修会



## 平成20年度 ジュニア・リーダー中級研修会

- 1 趣 旨 心身共に健やかな児童の育成をねらいとした子ども会活動の振興を図るために、子ども会の直接的な指導者を養成するとともに、地域ボランティアとしての資質の向上を図る。
- 2 主 催 宮城県教育委員会
- 3 共 催 宮城県子ども会育成連合会 仙南地区子ども会育成会連絡協議会
- 4 後 援 宮城県高等学校長協会 宮城県中学校長会  
大河原地区教育委員会協議会教育長部会
- 5 主 管 宮城県大河原教育事務所
- 6 開催期日 平成20年7月12日(土)～7月13日(日) 1泊2日
- 7 会 場 宮城県蔵王自然の家  
〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上の原155-1  
Tel 0224-34-2101
- 8 参加対象 管内市町教育委員会又は子ども会育成会主催のジュニア・リーダー初級研修を修了した高校生及び中学生で、市町教育委員会教育長から推薦された者。
- 9 募集人数 50人程度
- 10 経 費 1,675円  
【内訳】宿泊費1,575円 傷害保険代 100円
- 11 申し込み 教育委員会を経由の上、6月20日(金)まで大河原教育事務所教育班生涯学習担当宛に申し込むこと。
- 12 そ の 他 ①研修会参加者が決定した時点で、本人あてに各市町教育委員会経由で通知する。  
②各教育委員会は、参加者の推薦にあたり、対象該当になる保険等に加入していることを確認すること。  
③研修参加者の所属高等学校、中学校校長には参加者について事前に通知をする。  
また、参加者自身も在籍高等学校、中学校校長に参加について届けること。  
④研修参加者は、研修内容について事前に学習し、自分なりにまとめておくこと。  
・課題作文 「子ども会に携わっての悩み・問題点」 または  
「ジュニア・リーダーを取り巻く諸問題」  
400字詰め原稿用紙2枚程度(当日持参)  
⑤持ち物・服装 ・ジュニア・リーダー手帳 ・保険証(写しでも可)  
・活動できる服装(リーダーとしてふさわしいもの)  
・筆記用具 洗面道具 上履き 着替え 雨具 タオル  
・防虫スプレー 他必要と思われるもの ・1日目の昼食

## 平成20年度 ジュニア・リーダー中級研修会日程表

時刻	1日目 7月12日(土)	2日目 7月13日(日)
6:00		起床・洗顔・清掃
7:00		朝のつどい【体育館】
8:00		朝食【食堂】 休憩 荷物の整理と移動
9:00	自然の家入所・受付 9:15～【開講式】～出会いのつどい～ 9:35～10:15 オリエンテーション	9:00～10:30 実技「子ども会と安全教育」 仙南地域広域行政事務組合 白石消防署 蔵王出張所
10:00		
11:00	10:20～11:50 理論「ジュニアリーダーとはⅠ・Ⅱ」 大河原町教育委員会生涯学習課 係長 社会教育主事 尾形 彰	休憩・移動 10:45～11:45 実技「子ども会と創作活動」 村田町教育委員会 派遣社会教育主事 藤原 秀光
12:00	昼食・休憩 荷物の移動	昼食・休憩
13:00		12:45～13:45 方法「おでんディスカッションパートⅡ」 蔵王町教育委員会 派遣社会教育主事 池田尚人
14:00	12:45～14:45 実技「子ども会とレクリエーション活動」 白石レクリエーションサークル遊遊 副会長 関東香代子 (白石市越河保育園 園長)	修了証交付式 閉講式(別れのつどい) 解散・送迎
15:00	移動・休憩	
16:00	15:00～16:30 方法「プログラムの種類と立て方」 仙南地域広域行政事務組合 派遣社会教育主事 森 智弘	
17:00	休憩 夕べのつどい	
18:00	夕食【食堂】 休憩 ベッド・メイキング	
19:00	18:30～20:00 方法「おでんディスカッションパートⅠ」 蔵王町教育委員会生涯学習課 派遣社会教育主事 池田尚人	
20:00	20:15～21:00 入浴・休憩	
21:00	室長会議 反省会	
22:00	消灯・就寝	

## 平成20年度 ジュニア・リーダー上級研修会

- 1 趣 旨 子ども会活動及び地域社会の振興を図るため、子ども会活動の支援や地域活動を行う年少リーダー（ジュニア・リーダー）を育成する。  
ジュニア・リーダーによる発展的な活動についての理解を深めさせ、自主的な活動意欲を高めさせる研修を行う。
- 2 主 催 宮城県教育委員会
- 3 共 催 社団法人 宮城県子ども会育成連合会
- 4 主 管 宮城県松島自然の家
- 5 後 援 宮城県高等学校長協会
- 6 期 日 平成20年12月25日（木）～12月27日（土） 2泊3日
- 7 会 場 宮城県松島自然の家  
〒981-0411 東松島市野蒜字洲崎71-202  
Tel 0225-88-3388 Fax 0225-88-2337 (Tel兼)
- 8 対 象 市町村教育委員会の推薦する高校生等で、次の3つの条件を満たすものであること。  
①ジュニア・リーダー中級研修を修了した者  
②初級習得から上級研修までの期間が1年以上経過している者  
③市町村教育委員会教育長の推薦のある者
- 9 定 員 100名（大河原25名・仙台30名・北部[大崎]25名・東部[石巻]20名）
- 10 参加経費 3,000円  
【内訳】食糧費2,660円・寝具レンタル/シーツクリーニング代230円  
傷害保険料 110円  
※参加経費は同封の振込用紙で振り込んでください。
- 11 研修内容 宮城県ジュニア・リーダー研修会内容（上級）に基づくもの。
- 12 研修日程 別紙参照
- 13 申込方法 市町村教育委員会は、別紙様式により平成20年11月27日（木）までに所轄の教育事務所あて申し込んでください。
- 14 携 行 品 ①ジュニア・リーダー手帳（活動実績を記入の上、当該市町村教育委員会・公民館等の証明押印があるもの）  
②健康手帳（コピーorカード）③筆記用具 ④洗面用具・入浴用具 ⑤運動着  
⑥運動靴（上履き用） ⑦1日目の昼食 ⑧防寒具  
⑨三角巾（バンダナや風呂敷でも可）…救急法講習で使用する場合があります。
- 15 集合解散 ■集合時刻・場所 12月25日（木）10:00（受付9:00～）  
宮城県松島自然の家  
■解散時刻・場所 12月27日（土）13:40 宮城県松島自然の家
- 16 そ の 他 ①ジュニア・リーダーにふさわしい服装で参加すること。  
②ジュニア・リーダーのバイクでの参加は禁止とする。  
③参加する高校生は、担任の先生を通じて在学する高等学校長にこの研修会に参加する旨を事前に申し出ること。  
④市町村教育委員会は、参加者名を事前に在学する高等学校長に連絡すること。  
⑤研修修了者名は、県教育委員会から在学する高等学校長に通知する。

平成20年度 ジュニア・リーダー上級研修会日程表

時刻	1日目 12月25日(木)	2日目 12月26日(金)	3日目 12月27日(土)
6:00			
7:00		起床・洗顔・清掃 朝のつどい【体育館】	起床・洗顔・清掃 朝のつどい【体育館】
8:00		朝食【食堂】 休憩	朝食【食堂】 休憩
9:00	受付【1Fロビー】	実技【第1研修室】(90分) 「ネイチャークラフト」	部屋の整理整頓・荷物の整理移動
10:00	開講式【第1研修室】(20分) 施設オリエンテーション及び日程・内容(進め方)等の説明(40分)	休憩	レクリエーションゲーム発表会【体育館】(90分)
11:00	基調講話【第1研修室】(60分) 「ジュニア・リーダーに望むこと」 松島自然の家所長	講話【第1研修室】(90分) 「地域活動の意義と実践上の留意点」	理論と実技【体育館】(90分) レクリエーションゲーム発表会の振り返り
12:00	昼食(持参)【食堂・ロビー】	昼食【食堂・ロビー】	昼食【食堂・ロビー】
13:00	休憩 MAP体験(アイスプレイキング)【体育館】(60分) レクリエーションゲームの実際 松島自然の家職員	休憩 理論と実技【第1研修室】(180分) 救急講習 「いざという時の救急法・手当法」 ～AEDを用いた心肺蘇生法, 他～	休憩 感想文作成【第1研修室】12:45～
14:00	移動・休憩 講話【第1研修室】(120分) 「子どもの理解と適切な支援の仕方」		閉講式【第1研修室】13:15～ 退所 13:45～
15:00			
16:00	休憩	休憩	
17:00	全体討議【第1研修室】(45分) 「JL活動の現状と運営上の課題」	演習【第1・第2・体育館研修室】 「地域活動の計画立案と発表」(60分) ・グループごとの計画立案	
18:00	夕食【食堂】 休憩	夕食【食堂】 休憩	
19:00	分科会ごとの討議(60分) 「JL活動の活性化と後輩の育成」 【第1・第2・体育館研】	演習【第1・第2・体育館研修室】 「地域活動の計画立案と発表」 ・グループごとの計画立案(40分) 全体会【第1研修室】 ・グループごとの発表(20分)	
20:00	全体報告【第1研修室】(30分)		
21:00	入浴(20分)   レクゲーム企画発表準備Ⅰ【第1・第2・体育館研】(100分)	入浴(20分)   レクゲーム企画発表準備Ⅱ【第1・第2・体育館研】(100分)	
22:00	自己評価(部屋ごと)	自己評価(部屋ごと)	
23:00	消灯・就寝	消灯・就寝	



## ジュニア・リーダー研修 研修内容

\* 研修の最低基準として示すものである

各級	初級研修(10時間)	中級研修(10時間)	上級研修(20時間)			
主 催	市町村教育委員会主催	宮城県教育委員会主催 (教育事務所主管)	宮城県教育委員会主催 (自然の家主管)			
ねらい	ジュニア・リーダー活動に対する興味・関心を高めさせ、ジュニア・リーダー活動への意欲付けを図る。	ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身に付けさせ、ジュニア・リーダー活動への実践力を高めさせる。	ジュニア・リーダーによる発展的な活動についての理解を深めさせ、自主的な活動意欲を高めさせる。			
対 象	小学校6年生から高校生等	中学2年生から高校生等	高校生等			
受講条件		初級研修受講後に10時間以上の活動実績があること。	中級研修受講後に10時間以上の活動実績があること。			
	<b>初級必修研修 6時間</b>	<b>中級必修研修 6時間</b>	<b>上級必修研修 10時間</b>			
	研修内容	時間	研修内容	時間	研修内容	時間
理 論	子供の理解	1	子供の理解	1	子供の理解	2
	・子どもと遊び ・子どもの現状		・子どもと体験活動 ・子どもの成長と心理		・子どもの規範意識 ・障害の理解 ・子どもへのよりよい助言や援助	
理 論	ジュニア・リーダーの役割	1	ジュニア・リーダーの役割	1	ジュニア・リーダーの役割	2
	・ジュニア・リーダーと子ども会 ・ジュニア・リーダーの活動		・ジュニア・リーダーの心構え ・ジュニア・リーダーの多様な活動		・ジュニア・リーダーサークルの運営 ・後輩への指導と助言 ・ジュニア・リーダー活動から発展して	
実 習	レクリエーション活動	2	レクリエーション活動を通した 集団づくりの活動	2	地域活動	4
	・レクリエーション活動の意義 ・レクリエーション活動の計画 ・レクリエーション活動の実際 (各種ゲーム、レクソング、レクダンス、ウォークラリー、オリエンテーリング等)		・MAP等による集団づくりの意義 ・MAP等による集団づくりの計画 ・MAP等による集団づくりの実際 (アイスブレイキング、ディーンヒビタイザー、イニシアティブ、トラスト、ローエメント、各種レクリエーション活動等)		・地域活動の意義 ・地域活動の計画 ・地域活動の実際 (自主企画、他地域との交流事業、通学合宿、フェスティバル、他団体との連携事業等)	
	安全教育	2	安全教育	2	安全教育	2
	・安全指導・安全対策の必要性 ・危険予知訓練		・緊急時の対応 ・簡単な救急法		・救命講習 (包帯法、搬送法、AEDを用いた心肺蘇生法、災害時の対応等)	

選択研修(初級・中級4時間 上級10時間)								
	研修内容	時間	研修内容	時間	研修内容	時間	研修内容	時間
実習	スポーツ活動	1~4	自然体験活動	1~4	文化活動	1~4	創作活動	1~4
	・スポーツ活動の意義 ・スポーツ活動の計画 ・スポーツ活動の実際 (体操、マラソン、ドッジボール、ニュースポーツ等)		・自然体験活動の意義 ・自然体験活動の計画 ・自然体験活動の実際 (キャンプ、ハイキング、ネイチャーゲーム等)		・文化活動の意義 ・文化活動の計画 ・文化活動の実際 (紙芝居、人形劇、音楽会、読書会等)		・創作活動の意義 ・創作活動の計画 ・創作活動の実際 (工作、写生会、作品展、焼き板、陶芸、折り紙等)	
	科学活動	1~4	創造活動	1~4	プログラム作成活動	1~4	広報活動	1~4
	・科学活動の意義 ・科学活動の計画 ・科学活動の実際 (天体観測、環境調べ、植物栽培等)		・創作活動の意義 ・創作活動の計画 ・創作活動の実際 (フェスティバル、イベント、各種自主企画等)		・プログラムの必要性 ・いろいろなプログラム ・プログラムを作成しよう		・広報活動の必要性 ・いろいろな広報活動 ・広報誌を作成しよう	
	情報交換活動	1~4	裁量自由な実習活動					1~4
	・ジュニア・リーダー活動の成果と課題 ・自主企画について		* 研修主催者の裁量で、必要と認める研修 ・独自に設定する研修 (例 郷土芸能活動、国際交流活動、ジュニア・リーダーとの交流活動、コミュニケーション技術向上研修等) ・必修研修の充実や補充のための研修 (例 初級研修でのレクリエーション活動②、上級研修でのレクリエーション活動等)					

※受講条件の活動実績は、市町村教育委員会が研修に値すると判断した研修や活動とする。(例 子ども会派遣、定例会、インリーダー研修会、市町村主催事業、県子連主催技術研修会等)

※研修日程については、日帰り型、1泊2日型、2泊3日型等、実態に応じて効果的に開催できるものとする。

夢と感動の配達人

# ジュニア・リーダー

ジュニア・リーダーは、地域で活動する青少年ボランティアです。



皆さん、外でたくさん遊んでいますか？キャンプやボランティア活動など様々な体験活動に挑戦していますか？

宮城県教育委員会では、各市町村教育委員会、宮城県子ども会育成連合会と連携して、子どもたちの遊びのリーダー、様々な地域活動を積極的に行うリーダーであるジュニア・リーダーを育成しています。

☆子ども会での活動 (^o^)  
自然体験活動、レクリエーション活動、子ども祭り、清掃活動など様々な活動支援

☆地域での活動 (^\_^)v  
市町村教育委員会などが行う、体験活動や交流活動、ボランティア活動など様々な活動支援

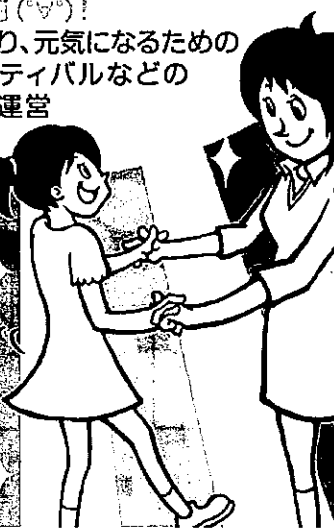
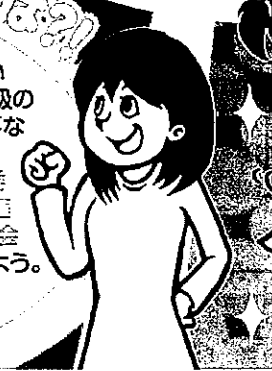
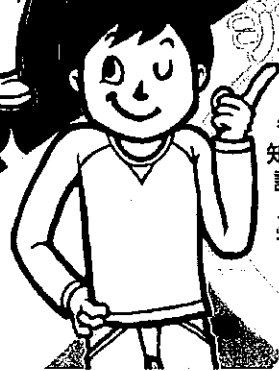
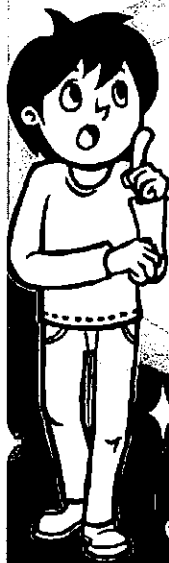
☆自主企画 (^v^)!  
地域のみながつながり、元気になるためのイベントやフェスティバルなどの企画・運営

## ジュニア・リーダーになるには?

ジュニア・リーダーは県内全ての各市町村教育委員会がそれぞれ育成指導し、素晴らしいサークル活動を行っています。初級、中級、上級の各研修会や技術研修会などがあり、活動に必要な知識や技術を学べます。

詳しくは学校の先生、住んでいる市町村の教育委員会や子ども会育成会、または宮城県教育庁生涯学習課 (TEL022-211-3654) か、宮城県子ども会育成連合会 (TEL022-299-0737) に聞いてみよう。

皆さんがジュニア・リーダーの仲間になって一緒に活動してくれるのを待っています。(^^^)/



宮城県教育委員会 社団法人宮城県子ども会育成連合会

**大河原教育事務所管内  
ジュニア・リーダー交流研修会**



## 平成20年度大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会 「アンパンマンとジャムおじさんズ」について

### 1 「アンパンマンとジャムおじさんズ」開催に至った経過

毎年、1年ごとに各市町会場持ち回りで仙南地区子ども会育成会連絡協議会主催、会場地子ども会育成会及びジュニア・リーダーサークル主管、会場地教育委員会後援により「大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会」を開催していたが、平成18年に各市町のジュニア・リーダーが集まり、話し合いを行い、別な日程で年度内に仙南地区2市7町ジュニア・リーダー交流会「アンパンマンとジャムおじさんズ」を大河原町「はねっこアリーナ」で開催した。この時主催となったのが、仙南地区ジュニア・リーダー交流会「アンパンマンとジャムおじさんズ」実行委員会である。



講習会では、実際にジュニア・リーダーがゲームをして講師より講評をいただきました。(平成20年度)

平成19年度は、仙南地区子ども会育成会連絡協議会の承認により、これまで開催してきた「大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会」を各市町ジュニア・リーダー実行委員で組織した実行委員会により企画する「アンパンマンとジャムおじさんズ」として開催した。

2年目の平成20年度の研修会は、前年度の反省から、実行委員会制ではなく、各市町のジュニア・リーダー代表者が会議に参加し、より多くのジュニア・リーダーの考えが生かせる交流研修会とした。

### 2 「アンパンマンとジャムおじさんズ」開催理由

- ・様々な市町と情報交換ができ、これまでの交流研修会のような1つの市町の中で話し合っただけよりも視野が広がること。
- ・2市7町のジュニア・リーダーが集まり話し合いを持てること。
- ・全市町のジュニア・リーダーで決めることにより、みんなが交流会でしたい事、そして、学びたいと思っている事を反映した交流会にすることができること。
- ・自分達による企画と運営ができること。

### 3 平成20年度実施に向けた全体会議日程と検討内容

- 第1回(平成19年11月23日) 日程・会場等
- 第2回(平成20年4月19日) 研修内容等
- 第3回(平成20年6月8日) 各市町分担・プログラム作成等
- 第4回(平成20年11月29日) プログラム詳細作成等
- 第5回(平成21年1月31日) プログラム最終確認等
- 第6回(平成21年3月7日) 反省会



「ジュニア・リーダーの課題・悩み」について班ごとに討論。必ず結論を出すことにした。(平成20年度)

### 4 課題(平成20年度)

- ・全体会議を開催しても、ジュニア・リーダー代表者等が部活動やまちの行事等により、参加できないまちが出てくる。
- ・もう少し時間があると討論会等でより研修が深められるが、プログラム設定の工夫も必要である。
- ・次に発展できる来年度以降の事業内容の検討が必要である。

### 5 成果(平成20年度)

- ・各市町のジュニア・リーダーや教育委員会担当者の考えを取り入れた研修会とすることができた。
- ・1日の限られた時間の中でも充実した交流研修会を行うことができた。また、受けた研修内容は各市町の活動に生かせるものとなった。
- ・運営をすべてジュニア・リーダーに任せたことにより、研修だけでなく、交流も深めることができた。

平成20年度大河原教育事務所管内

ジュニア・リーダー交流研修会開催要項

- 1 ねらい 管内で活動するジュニア・リーダーの交流研修を行い、技術の向上と親睦を図り、会員相互の連携を強化するとともに、これからの活動に役立つ資質を養う。
- 2 日時 平成21年2月11日（水・祝）午前9：30～午後4：00
- 3 会場 白石市中央公民館  
（TEL0224-26-2453 白石市字寺屋敷前25-6）
- 4 事業名 平成20年度大河原教育事務所管内ジュニア・リーダー交流研修会  
「アンパンマンとジャムおじさんズ」
- 5 主催 仙南地区子ども会育成会連絡協議会
- 6 主管 仙南2市7町ジュニア・リーダー
- 7 後援 仙南2市7町教育委員会、大河原教育事務所
- 8 対象者 大河原教育事務所管内で活動しているジュニア・リーダー
- 9 日程

9：30	受付
10：00	開会式 開会宣言 主催者あいさつ J・L代表者あいさつ 各市町J・L紹介 日程説明 誓いの言葉
10：30	討論会
12：00	昼食・休憩（自由時間）
13：00	講習会
14：20	ダンス
15：00	閉会式 感想発表 全体講評 閉会のあいさつ 御礼 閉会宣言 エンディング
16：00	後片づけ・解散

- 10 持ち物 昼食、筆記用具、体育館用シューズ、ネームプレート（キャンプネームが書いてあるもの）、その他各自必要な物（タオル・水・防寒用上着など）
- 11 服装 活動しやすい服装
- 12 申込み 別添「参加申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたはメールで送信願います。  
平成21年1月13日（火）必着。
- 13 その他 ○ジュニア・リーダーの送迎及び保険については、各市町でご配慮願います。  
○開会式で、各サークルに簡単なあいさつをしていただきます。

座 談 会  
「ジュニア・リーダーについて」





# 【座談会】開催要項

- 1 趣 旨           ジュニア・リーダー（以下J・L）に関わっている行政担当者と社会教育主事が、実際にJ・Lとして活動していた方々やJ・L育成に携わった方々から、当時の状況やその時の心境、これからのJ・Lに期待することなどについて話していただき、J・L育成の在り方を探る。
  
- 2 期 日           平成20年11月11日（火） 10:00～11:45
  
- 3 場 所           柴田町 しばたの郷土館
  
- 4 テーマ          「ジュニア・リーダーについて」
  
- 5 講 師           伊藤 裕 康   蔵王町永野地区子ども会育成会 会長  
山家 善 則   蔵王町永野地区子ども会育成会 幹事  
佐藤 隆 法   村田町教育委員会事務局 主事（社会教育主事）  
小野 寺 徹   丸森町立丸森西中学校 教諭
  
- 6 次 第           (1) 開 会   (研修委員長)  
                  (2) 開会挨拶 (協議会会長)  
                  (3) 講師紹介 (研修委員長)  
                  (4) 座談会 (進行：研修委員長)  
                  ① ジュニア・リーダーに入会した動機と活動などの思い出  
                  ② 今だから思うこと  
                  ③ ジュニア・リーダーと関係団体との関わり方や連携  
                  ④ 今のジュニア・リーダーを見て感じること、期待すること  
                  ⑤ ジュニア・リーダー育成の在り方について  
                  ⑥ 質疑応答  
                  (5) 感謝の言葉 (協議会副会長)  
                  (6) 閉 会   (研修委員長)
  
- 7 出席者          尾形 彰      (大河原町社会教育主事)  
小野 輝彦   (白石市社会教育主事)  
齋藤 公男   (丸森町社会教育主事)  
伊藤 博道   (丸森町社会教育主事)  
伊藤 貴子   (七ヶ宿町社会教育主事)  
大川原 真一 (柴田町社会教育主事)  
村上 透     (川崎町社会教育主事)  
佐藤 奈美   (角田市社会教育主事)  
川井 由美   (蔵王町社会教育主事)  
池田 尚人   (蔵王町派遣社会教育主事)  
森 智弘     (仙南広域派遣社会教育主事)  
藤原 秀光   (村田町派遣社会教育主事)  
山本 玲     (大河原教育事務所)

## 【 座 談 会 】 テーマ 「ジュニア・リーダーについて」

**伊藤**：現在、蔵王町の永野地区子ども会育成会会長をさせていただいております伊藤と申します。私もジュニア・リーダー(以下J・L)を一応経験しましたが、高校時代は本気になって部活動をしていたので、時間の空いたときにしかJ・L活動はできませんでした。初級研修会も部活動を引退した高校3年生に参加したので、J・Lとしての経験はあまりないほうだと思います。

当時J・L活動がとても活発で、私が小学生の頃は子ども会行事など、どこに行ってもJ・Lのお兄さん・お姉さんたちがいて、指導してもらうのが当たり前でした。大きくなったらJ・Lになるのが当たり前だと思っていました。隣にいる山家善則君はJ・Lとしての大先輩で、山家君など友達がいっぱいいましたので、J・Lには自然に入ることができました。皆さんの参考になるかわかりませんが、よろしく願いいたします。

**山家**：おはようございます。話をするのは苦手なのですが、今、会長がお話しました蔵王町永野地区子ども会育成会幹事をさせていただいております山家善則と申します。幹事は永野地区内5地区の地区委員長さんが1年交代で担当していますが、それでは会長さんは大変ですので、規約改正をして、本当は1年なのですが、留任して幹事をしております。伊藤会長は同級生なので、小さい頃から一緒に頑張っております。

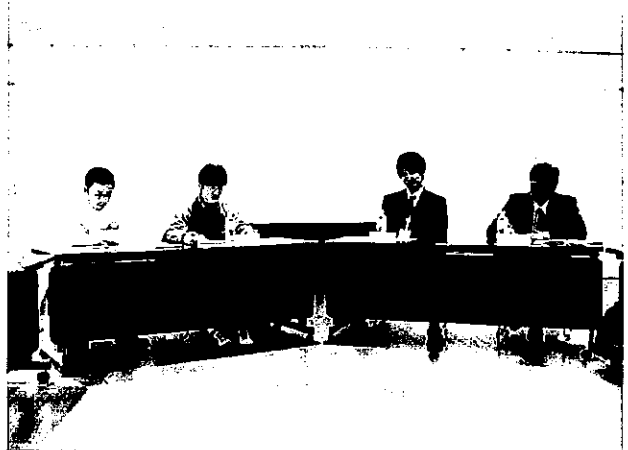
J・Lに入ったきっかけは、伊藤会長も言った通り小学校時代からJ・Lと接する時間が多かったので、この人たちみたいになれたらいいなと思っていました。中学校になっても、単位子ども会の子供たちの世話とかいろいろ頼まれ活動していたので、そういうことができたかなと思って入会したと思います。

友達も多かったし、いい先輩たちもいたので、その影響もあったと思います。よろしく願いいたします。

**佐藤**：おはようございます。村田町教育委員会事務局で主にスポーツ関係を担当しております佐藤隆法と申します。

私は、小学生のときにJ・Lがやっていた行事にけっこう参加していたこともあり、中学校に入ったらやってみたくて思っていました。ただ、なかなかきっかけがなくてずると1年生の冬休みまで入会せずにいて、仲のいい友達が入るといふ話になり入会しました。そこから高校生まで続けられたのでよかったと思っています。

**小野寺**：おはようございます。派遣社会教育主事から戻り、まだ1年もたっていませんが、講師ということで、こんな私の何を話せばいいのかと思い、山本先生にも電話で相談もしました。私はJ・Lの経験はありません。中学校時代も高校のときも部活をしていまして、中学校のときにJ・Lの宣伝を学校でされた記憶もないです。1クラス46人の11クラスあり、3学年で千人を超える大規模校だったので、J・Lはあったのかなという感じでした。ただ親戚が当時公民館の職員をしていて、何かのときに公民館に遊びに行ったら、J・Lの活動をしていました。この人たちは何をしているのだろうとちょっと興味はありましたが、時間がないし、親戚も無理に入れとは言わなかったので入りませんでした。行政で見てきたJ・L活動と今学校にいて感じていることを中心にお話できればと考えています。よろしく願いいたします。



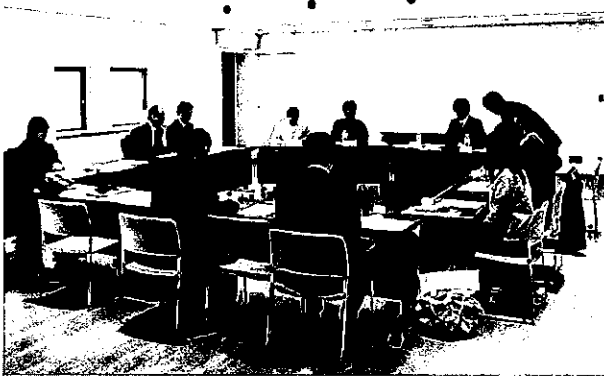
**村上**：それでは「今だから思うこと」ということで、自分にとってJ・L活動はどんなものだったのか、J・Lをやっていたよかった、ためになった、今思うとあの時やりたかったこと、などをお話いただきたいと思います。

**伊藤**：私はJ・Lとしての経験は期間的に短かったのですが、高3の夏休みに研修とか公民館に初めて行って、そのときには年下の子が多く楽しかったので、もう少し早く始めておけばよかったと感じました。各地区の行事には時間があるときは顔を出していたので、仲間づくり、友達づくりはできてたと思います。先輩との関わりもできたのでそういう面でもよかったです。良いことにつけ、悪いことにつけ、いろいろ学べました。今の子供たちを見ると自分たちと比べまじめな子が多いなと思います。

昔は先輩達もかなりやんちゃで、今で言うと不良少年少女みたいな人たちもいたのですが、その中でもそれなりに大人になったり勉強になることはあったので、人生経験としては決してマイナスにはならなかったと思いました。お年寄りの人などと接する機会もあったり、多感な時期ですし、大人や児童館の先生たちとけんかしたり、そういう経験をしたから今があると思います。

**山家：**伊藤会長よりちょっと長く J・L の活動をしました。会長は部活で野球をしていたので、行事への参加はなかなか難しかったのですが、私は抜けても支障のない部活でした。研修会なども 1 年生のときから参加していました。部活の合宿が終わったらそのままずっと蔵王自然の家に行き、家には夏休み中 2 週間も帰らないようなこともありました。両親は共働きだったので、夏休みにただ家にいるよりは、研修等に参加すれば、大人にもなるし、人の付き合いも広まるから、J・L をやってきてよかったです。

研修は初級を町でやって、中級、上級研修まで受けさせてもらいました。いろいろな人との交流ができたことが一番いい点だったと思います。高校生の頃から年上の青年会とかボランティアサークルの人たちとのつながりが持てたので、今、あの時はこうだったよねという話ができることがよかったです。もう少し深い付き合いができればよかったですと思っています。町外の人とも働いてからも連絡を取りあえばよかったです。



**佐藤：**自分の J・L 活動ということで、いろいろな人から公認の居場所を作ってもらえたことが私の中の J・L 活動だったと思います。ボランティアをしているという自負もあるし、周りの人たちも J・L だったらと肯定的に認めてくれる人が多かったので、よい居場所を作っていたと思います。とてもよいところだったと思っています。村田では公民館の中に J・L 専用の部屋があり、J・L のたまり場で、中学校時代は学校行って部

活終わって公民館によって帰るという毎日でした。特にキャンプなどの事業がない時期でも、誰かしら公民館にいて、友達がいる、適当に話をして夜帰るという毎日でした。私は高校のときは部活動が忙しく、J・L になかなか参加できなかったのですが、時間があれば公民館に行って友達と遊ぶのが楽しかったです。学校が終わって 4 時くらいに公民館に行くと、公民館の先生方は仕事していましたが J・L が来ると「よく来たね」と相手してくれました。当時は仕事は忙しかったと思いますが、懐を広く接してもらいました。おかげで同級生の J・L や先輩、後輩の J・L とのつながりがかなり深くなり、今でも仲間とはよく会って、いろいろな活動をしようというとき力になってくれます。とてもいいつながり、いい関係をつくることができました。当時の職員の方はもしかして上の人からいろいろ批判もあったのかもしれませんが、私たちにはそういったことをぜんぜん感じさせませんでした。社教主事の先生方のおかげで自由に遊ばせてもらえたのかなと感謝しています。

**村上：**J・L と関係団体との関わり方、連携ということで感じたことをお願いします。

**伊藤：**子ども会活動に関わるのが一番かと思うのですが、私も子ども会育成会の会長をさせていただいて、私自身反省するところでもありますが、J・L が一生懸命講習や研修を受けて勉強やスキルアップしていますが、それを生かす場をうまく子ども会活動で作れているかという心配があります。最近のお父さんお母さんはとても教育熱心なので、イベントでも段取りをやりすぎ、一から十まで揃えるので、J・L の活躍の場を作るのが難しいところがあります。J・L もやらせてみると、永野地区では中学 2 年生が主体ですが、自発的に活動するので、とても大人になると感じます。子供たちは勝手に成長するものだなと思います。このままいくと私たちよりはるかにうまい活動をしてくれるのではと思うことも多々あります。他には、小学校、中学校の先生が J・L の活動をどのくらい把握してくれているのか、先生方は学校でしか子供たちの様子を見る機会がないかと思いますが、外での活動も見てもらいたいです。学校ではどういう態度で過ごしているか分かりませんが、外での頑張りを見てもらえればと思います。町の職員が一生懸命頑張っているのも、J・L の子供たちも幸せかなと思っています。

**山家：**会長が全て言ってくれたので、言うことはないですが、私の子供も J・L で、伊藤会長の子供と同級生で、親子二代で同級生同士 J・L をやっています。中学校 2 年生ですが、この頃少し大人になったかなと感じていま

す。J・Lはどうしても場数を踏まないと子供たちに接し方やつかみが分からず、うまく進行できないことがあるので、活動の場を作ってもらえると一番ありがたい。また、活動しやすくするために、学校には、行事があるのでJ・Lを出さしてくださいと文書でお願いしています。また、J・Lが来やすい、集まりやすい雰囲気を作ってあげば、自然と他の支部同士の交流もできるし、大きい行事やJ・Lで何かしたいというとき、核となるJ・Lがいることも大切です。私のときも、各地区に1・2名、主となる人がいて、蔵王町で新たな活動や、他の町と交流会などをやった経歴があります。私が高3のときに、丸森町のJ・Lとの交流会をしたのですが、気の合う人たちが集まってスケジュールを自分たちで作り、教育委員会の担当者に「こういうのしたいんだけど」と相談しに行きました。体育館を借り、丸森からJ・Lを呼んで、交流会をしました。今のJ・Lと担当の人たちも気軽にこのような関係を築ければいいのかなと思います。

**佐藤：**私がJ・Lをやっていた頃、よくOG・OBの先輩が来てくれました。夏のキャンプのときに顔も見たことのない名前も知らない人が来て、表立っては何もありませんが、キャンプファイヤーのとき、夜みんなが寝静まってからも火の番をしてくれたり、雨が降ってテントの撤収をしなければならぬときに、先輩方が力仕事を手伝ってくれたり、車を出してくれたりして、影のボランティアとして手伝っていただいた先輩たちがいました。そういうOBの人たちとの関わりは大きかったと思います。現在、私はJ・Lのサブ担当をしていますが、卒業した子が次々遊びに来て、頼まなくても仕事をしてくれるので、よい流れができていることがありがたいと思います。先輩たちはボランティアのためだけに集まっていたわけではなく、すみっこでOB会をしていたそうです。私たちが寝静まった頃、端のほうでいろいろ楽しいことをしていたようです。それが楽しみで来ていたということも大きかったと思います。いつの頃からか、そういう仕組みを担当の方が作ったのだと思いますが、そういう流れがあることがとてもいいことだと思います。村田では子ども会育成会がなく、各地区の子ども会は地区の親御さんたちがサポートをするということで、町全体としての育成会連絡会がないのですが、私たちがJ・Lとして活動していたときは、組織がなくても親御さんたちがちょうどいいさじ加減で子ども会活動をバックアップしてくれました。最近ですとプールのある施設に日帰りで連れて行って終わりというところも多くなっていますが、私たちがJ・Lの頃は子ども会単独でキャンプをし

たり、自前で工夫して、公民館をベースに泊まりがけでイベントをしたりということをお願いさんたちが計画しました。そういう機会にJ・Lを招いて活動場所を与えてもらい、うれしかったと思っています。それが、最近ではだんだん少なくなってきたことが、担当として寂しいと感じています。

町の公民館職員や学校の先生との関わりについては、公民館職員の方とは先に述べた通り、とてもいい関係で、活動がない日の土日に行っても、たいがい担当の方がいてくれました。何か困ったことがあるといつも相談に乗ってくれて、陰ながら見てくれる、サポートしてくれる、応援してくれる先生方がいたことは、今になって気づいたことです。おかげで一生懸命活動に打ち込めて、困ったときにスピーディーに相談できたので、担当の方は土日もなく忙しかったと思いますがとてもありがたかったです。学校との関係については、部活動などとJ・Lの活動が重なることもありましたが、中学校の先生は好意的に見てくれて、「部活休んでJ・Lなんて」と言う先生はいなかったと思います。高校の先生となるとまた別ですが、かなり理解はしてもらっていたと思います。関係団体という点ではかなり恵まれていたと思います。

**村上：**蔵王町の伊藤会長、山家幹事さんは蔵王町ではOB・OGとの関わりはどうですか？

**伊藤：**蔵王町では、蔵王町青年団体連絡協議会（青年会）があり、中にはJ・LのOB・OGが入っていて、いろいろなイベントに参加し、活発に活動している団体です。J・Lのときから青年会と一緒にお祭りで踊ったり、J・LとOB・OGの交流はかなりしていると思います。



**村上：**キャンプなどには来ていますか？

**伊藤：**キャンプにも来て、手伝ってもらっています。OB・OGということで考えると、青年会が一番大きな存在だと思います。J・Lに入ったら、青年会に入るとい

う流れもあるように思います。

**佐藤**：村田にも青年団がありましたが、J・Lを応援してもらいたいという反面、J・Lをやっていると青年団という流れがあり、当時の自分はエスカレーター式に青年団に入るのが嫌だなと思っていました。青年団の先輩たちでまとまっていて、そこに入って行くのがおっくうという気持ちがありました。私たちが卒業した頃、青年団組織がなくなり、代わりに私たちと年の近い人たちが青年サークルをつくりました。

**伊藤**：私たちの頃も、青年会がありましたが入らずに、別な「やさしいライオンの会」というボランティアサークルに入っていました。私たちの頃はJ・LのOBはその会に多く入っていました。そのつながりがあり私たちもその団体に入っていました。今はもうありません。私たちの頃の青年団は、J・Lから入るといってではなく、友達づくりがメインという活動でした。昔は青年たちがみんなやる気があったので、いろいろな団体があり、「おらほはあいずやる」「おらほはこいずやる」という雰囲気がありました。

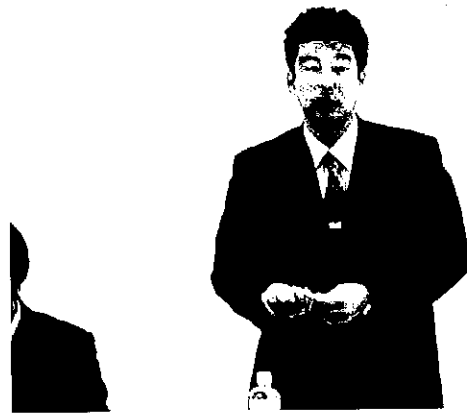
**山家**：当時の青年団は、人数も多かったし、名前だけの会員も混ぜれば100人以上いたと思います。

「やさしいライオンの会」と青年団が仲が悪いわけではなく、一緒に飲み会やキャンプをするなど交流はありました。高校3年生のときに、その会の先輩たちにキャンプなどに連れて行ってほしい、いろんな経験をして大人になっていったと思います。

**伊藤**：子ども会活動全般に言えることですが、昔は小学校に子ども会の地区担当の先生がいました。夏休み前には、子供たちが集まって、自分たちで夏休みの計画を立てる時間がありました。地元のJ・Lがいっぱいいたので、そういう活動にJ・Lが参加するという流れがありました。今では先生方がずいぶん忙しくなり、なかなかそういうことがなくなってしまったように思います。子ども会活動が地区ごとばらばらというか、子供たちの自主性がなくなってしまったと思います。6年生の親分格がいて、リーダーになって、お絵かきコンクールをやるとか、イナゴ取り大会をするとか、そういうことがなくなっているように思います。

**村上**：それでは、小野寺先生に行政と学校の立場からJ・Lと関係団体の関わり方についてお願いします。

**小野寺**：丸森町には子ども会育成会があり、地区ごとに子ども会がありましたが、J・Lの派遣要請は少なかった気がします。子ども会でクリスマス会をやるから、その地区のJ・Lに来てほしいというような要請は何件か



ありました。ある育成会の方からは、J・Lをもっと活用できるようにしたほうがよいと言われたことがありましたが、こちらからは地区にJ・Lを使ってくださいと言うしか方法がないし、無理やり押し付けることはできないので、地区の行事があれば活用できますが、何もなければ普段の活動で終わるという感じでした。丸森町の中学校から丸森町の教育委員会に派遣社会教育主事として入りましたが、その前は村田町の中学校におりました。当時、学社連携会議がありましたが、J・Lの話題はあまりなかったような気がします。先ほど、佐藤さんが先生にはJ・Lの活動をかなり支援してもらったと話しておりましたが、私の学校にもJ・Lの活動をしていた子がいました。ただ、学校の先生でJ・Lの経験をしてきた先生はほとんどいない状況だったので、J・Lは何をしているのだろうかということが、学校の先生方の正直な気持ちだと思います。丸森町の中学校に異動してから、高校入試の面接練習をしたときに、ある生徒がJ・Lをやっていたので、「あなたはJ・Lでどんな活動をしていますか？」と質問しました。そしたら、たくさん答えが返ってきて「ボランティア活動しています」とか、「キャンプに手伝いに行っています」「毎月何回集まってこういう活動をしています」とか、このとき初めてJ・Lの活動を詳しく知りました。それからは、初級研修会の案内が来たときなどは、担任の先生に、これ受けさせたほうがいいよと宣伝するようにしました。また、部活動や駅伝の練習など、子供たちも窮屈な思いをしながら、なんとか時間を割いて活動している状況なので、J・L活動があるときは、なるべく休んでだめとは言わずに、行って来いというように、私も意識が変わりました。学校ではJ・Lがどんな活動をしているのか分からないので、学社連携会議のときに子供がどのような活動をしてきたのか一覧表にして学校ごとに提出してもらいました。担

当者はとても大変だったと思いますが、これをやらない限りはこれからのJ・Lの活動が停滞してしまうと話し、担当者は忙しいところで泣く泣く出してくれました。今も、その活動状況報告書を学校に提出することは続いています。特に中学校3年生にとっては、調査書にも書けることなので、3年生の分だけでも出してと話しています。関係団体や学校からすれば、J・L活動はあまり見えていない、理解していないということが現状だと思います。J・Lの活動があるから部活や駅伝の練習を休むのはサボっているのと同じという見方をする先生もいるはずですが、その先生方の意識も変えなくてはいけないと思いますが、私が言ってもほとんど効果はありません。先ほど伊藤会長が言われたように、実際に子供たちが活動しているところを見てもらえば分かると思いますが、学校も忙しいので、実際は難しいと思います。夏休みなどに小学校の先生がキャンプに来て、子供たちの様子を見に来たということはありません。私が教育委員会にいたときでしたので、とてもありがたいと感じました。中学校の先生も来てくれたらと思いますが、なかなか実現されないのが現状だと思います。

## 休憩



**村上：**それでは今までの話を聞いてご質問があればお願いいたします。

**藤原：**村田町教育委員会に4月から配属になりました藤原です。よろしくお願いたします。質問ではありませんが、皆さんの話をお聞きしまして感じたことを話します。私は去年まで蔵王町の円田中学校に務めておりました。やはり先生方はJ・Lの活動を知らない方が多いと思います。小学校の先生は中学校と比べて関わりがあ

るかと思いますが、中学校の先生は小野寺先生がおっしゃいましたとおり、把握できないのが現状だと思います。放課後の活動では、部活動を優先しなさいと話をする先生が多いと思います。私もこの職につくまでは、J・Lの活動に理解が足りませんでした。2年前の文化祭でしたが、普通、有志発表という流行のダンスとかパラパラ、ギャグなどおちゃらけたものが多く、それで終始終わってしまうのですが、その中で、J・Lの子達が有志発表で、ぜひ、寸劇をしたいと申し出ました。寸劇をした後でJ・L活動の紹介や勧誘を行ったんです。とても素晴らしいと思いました。文化祭では保護者も来るし、他の生徒も見ている、そのような場で自分たちの活動をアピールすることは大事だと思いました。子供たちの方でJ・Lのアピールができるような仕掛けを、我々がはたらきかけていくこと、また、その方法を教えていくことをもっと強化していくべきだなと皆さんの話を聞いて感じました。

**川井：**蔵王町には町内5地区の育成会があり、それぞれ活動はしっかりしていますが、特にJ・Lを活用して活発に活動されている永野地区のお二人に来ていただきありがとうございました。今のJ・Lの活動について藤原先生が円田中学校でJ・Lの活動を見てこられたご意見もありましたが、(蔵王町の)私と池田先生も学校の先生方の理解が不可欠であることは感じていて、その辺の周知が我々も足りなかったことを踏まえて、今年は中学校の先生方に、忙しい時期ですが年度当初の職員会議で時間をいただき、J・Lの活動について説明しました。全部の学校とはいかなかったけども・・・。

**池田：**職員会議は1校で、後は回れるところは回って説明しました。

**川井：**中学校の先生方にJ・Lの活動についてお話しさせていただこうと今年から取り組んでみました。また、各5地区の支部ごとに新聞をつくっているのですが、J・L自身もJ・Lの活動を知ってもらうため、J・L新聞を3年前から始めました。2ヶ月に1回は発行しようとしたのですが、当初は人が集まらなかったり、支部によっては核になる人がいなかったりしてなかなか軌道に乗らなかったです。新聞づくりは難しいものがありますが、研修の中で作成したりしながらやっています。永野地区では、小学校の先生が協力的です。蔵王の場合は小学校に育成会の事務局を置いてもらって、各地区の育成会の担当の先生がいます。学校との関わりが大事ですが、小学校の先生は忙しく難しいなど担当としても思います。

**村上：**今のJ・Lを見て感じることは、今後J・Lに期待することについてお話をうかがいたいと思います。

**伊藤：**感じることといえば、うちの地区は、どちらかというと中学生が主体になってます。私たちの代はJ・Lは高校生からだったので、高校生のJ・Lと成り立ての中学生のJ・Lを見てみると歴然とした差があると感じます。あいさつ一つとってみても中学生の頃は難しいですよ。こちらから声をかけなかったらあいさつしない。J・L養成という点でも、そういうことも踏まえてJ・Lの育成を考えなければならないのかなと思います。あまり期待しすぎて、何でもかんでもやらせるのも、負担になってしまいます。今後のJ・Lに期待したいことはJ・L自身が仲間づくりをして新しいJ・Lを育ててほしいことです。私たちの頃と比べて、今、J・Lになる子供はとてもよい子ばかりで、心配する必要はないかもしれませんが、私たちの頃に比べたらまじめな子が多くて、逆に私達が免疫をつけてあげなければならないのかなあと(笑)。



**山家：**古い話ですが、これは伊藤会長が3年生のとき受けた初級研修会のしおりで、当時どんなことをしたのかなと見てみると、やってることは変わらない気がします。私達は高校生だったので、講義が多く、講義中心で夜にお楽しみという感じでした。よければ回してみてください。(会場参加者に資料が回る) 私達からしてみると、今のJ・Lは中学生からなので、私達が親になったこともあります。1年生から見てきた子供たちは2年生になると場数も踏むので、話の進め方、特に女の子は司会をさせるとすぐにうまくいくのが分かります。物怖じしないでやる。指示を出せば中学2年生でも100回やらされればうまくなる。同じ年代が多ければ多いほど、活動の内容が幅広くなっていくと思う。いろんなことに顔を出していくのもいいと思う。あとは、町の担当

者や地区の要請じゃなくて、自分たちから自主的にやりたいと言えるJ・Lになってほしい。自分からあいさつができるJ・Lになってほしい。あとは、子供たちと多く接してもらって、新しい次のJ・Lが「あんなふうになりたいな」と目標になってもらいたいなと思います。話は変わりますが、高校3年生のときに蔵王ボランティアサークルこだまという、今のJ・Lの前身があったのですが、3年生のときにその会長をやりまして、この会議の社会教育主事研究協議会の報告書が会長だけに渡されたんです。皆さんの参考になるかどうか分かりませんが、皆さんの参考にも持ってきました。ご覧になってください。

**村上：**はい、ありがとうございました。

**佐藤：**現在、村田のJ・Lとして活動している子供たちは高校生が3割で、中学生が7割位で、男女比率でいうと8、9割は女子という現状です。自分がやってた頃は同じ学年の子で10人とか20人とかいたんですけども、今は10数人という状況の中で、かなり、頑張っていると感じています。やっぱり、高校生が一番大変だなあと思うのですが、人数が少なく、しかも男手もなく、その中で事業の計画をたて、中学生の指導をしていかなければならず、一生懸命やっているところに事務局の担当の先生からは、いろいろな課題を要求されるわけで、板ばさみになっていると思うんです。そこでも、やめないで一生懸命子供たちのために活動しようとする姿を見ると、本当に頑張っているなあとと思います。今の現状を見ると、もしかしたら自分たちがやっていたときよりも頑張っていると思います。人がいないというだけで大変なことがありますし、私なんかは友達がいてくれたから、そんな苦勞もせずにやれたのかなあと今のJ・Lを見ると、今後はJ・Lに期待したいことは、やめないで、高校3年生までずっと続けてほしいなと思います。また、「子供たちのためにやるということを忘れないでやってほしい」ということをいつも言ってます。今のJ・Lの子たちは本当にまじめで、このような話をすると、そうしなければいけないと思って頑張る子が多い。この部分だけでも分かっていたら、結果的にはいいJ・L活動ができるのではないかなと思う。

**小野寺：**丸森町に私が派遣で入った頃は、高校生が1名しかいない状況でした。中学生がほとんどを占めていて、その会長であった高校生も中学生に話にくいということで、会長でありながら会長の仕事は果たさずに、止めていきました。そういうこともあり、高校生不在の時期が1、2年ありました。どの子供たちも忙しいなと正直思います。部活、バイト、あるいは別な友達との交流、そ

うということがたくさんあり、J・Lの活動に専念できる子が非常に少ないのが現状だと思います。その中でもずっと活動を続けている子供たちもいますので、そういう子供たちを中心に、先ほどからみなさんおっしゃっている「ああいうJ・Lになってみたい」「J・Lをやりたい」という気持ちを子供たちに抱かせる場面をつくる必要があると思います。あとは、活動を続けていく上で、J・L同士の横のつながりも大事ですが、縦のつながりも大事だと思います。ある程度年が離れていても、同じ年代という形で俺たちがJ・Lのサークルをなんとかしていくんだという意識をもってもらえればいいのか。去年のことですが、J・Lが自分たちの質を高めるという目的でキャンプを企画したのですが、のっけから私にダメだしをもらいました。「これではプログラムとしてよくないんだ」「何のための研修会なのか、何のためのキャンプなのか」と、自分たちが楽しむものではなくて自分たちの質を高めるためのものなので、このようなプログラムはダメだとダメ出しをしました。このように任せっきりにしておくと企画ができないという状況があると思います。学校でも同じで、生徒に任せておくとうまく企画・運営ができない。ある程度、担当者の知恵が必要になってくる。町の担当者もかなり忙しいことは分かりますが、その辺の時間とやり方を考えた支援が必要になってくると思いました。

**村上：**ありがとうございます。J・Lの育成の在り方について感じたこと、思うこと、話にもありましたが、OB、OG、子ども会育成会、教育委員会がどうすべきか、どうあったらいいのか、または、J・Lの衰退といえますか人数が減少しておりますけれども、それぞれ思うところをざっくばらんにお話しください。

**伊藤：**支援のさじ加減が難しいということが一番かな。あと、学校との連携、とくに、J・Lは中学生が多いので中学校との連携の仕方です。J・Lの活動が学校の邪魔にならないよう調整してあげるのがこちらの役目かなと思いました。J・Lの活動があるときに部活がある場合、顧問の先生が今日はJ・Lの活動に行ってもいいよと一言言ってもらえれば子供たちも迷わずにすむ。短い期間でもいいのですが、6年間J・Lの活動ができればその子にとってプラスになると思う。かえって私の方が今日は勉強になりました。ありがとうございます。

**山家：**中学生は部活に一生懸命な子が多い。学校にどういう活動をしているのか、どういうふうに学校にアピールするかということ活動を活動や研修の中で導いてあげて、藤原先生も言いましたが、発表の場があれば、自分たち

で企画させることが必要だと思う。J・Lに助言していく人がいなければならないし、子供たちだけでは難しい。ゲームの進め方などは場数を踏めば何とかできるので、プログラムの立て方も研修の一つに位置づけてしていくことが必要です。子供たちにとってはおもしろくはないかと思いますが、それも一つ経験しておかなければならないことです。そういうことができるようになると、下の子にも教えることができるし、J・Lの育成につながる。どれくらい、やる気があって、どれくらい頑張れるかということも大事。研修機会があればいいかなと思います。



**佐藤：**私もJ・Lのサブ担当ということで、どうしたらいいのかと悩んでますが、やっぱり、やったことに対する達成感が得られるように支援することが一番だと思います。自分たちが自主的に計画して事業をして、それに向かっていろんな努力をして最後終わってよかった。うれしかった、自分たちはすごいことをやったんだという達成感を1人ひとりが感じることであれば自然に活発な活動につながっていくと思います。小野寺先生がおっしゃるように、子供たちがやりたいと思っていることを支援する。ただ、やりたいことをやらせるのではなく、大人の視点で、他にどんなことが考えられるかというアドバイスをしなければならぬと思います。実際に、村田のJ・Lがキャンプをやりたいとか研修会をやりたいとか担当者に相談に来るんですが、ここ1・2年ぐらい見ていると、みんな相談しながら泣いちゃうんですね。ある意味、それぐらい担当者が追い詰めている。「おまえ達は子供たちのためにやるんでしょ、これは自分たちのためなんじゃないのか。ほんとに子供たちのためになるのか、安全に活動できるのか」と1から10までチェックします。それでもやめずに、最後までやって卒業していくと、もう一人前の顔になっていて、後輩に「私達はここまでやったのよ、あんた達も頑張れなさい



よ。」と話しているのを見て、自分の活動に自信を持って卒業しているなど感じます。自主性を伸ばすことと、少し締めつけてハードルを高くして、うまいさじ加減で達成感がより大きなものになるようにすることが大事だと思います。そういうことをしていけばJ・Lの活動がよくなっていくし、J・Lの活動がよくなれば、それを見た小学生がJ・Lになりたいと思う。

実際にきついことをいうと来なくなるとは思います。そこをつなぎ止めるのも子供たちと担当者の人間関係しかないのかなあと思うので、まず、J・Lと担当者が本気になって付き合うことが必要と思いました。



**小野寺**：今年度から初級の講習時間が10時間以上となり、これで初級認定してJ・Lとしてやっていけるのだろうかと心配でした。そこで担当者と相談し、丸森町では今年度も2泊3日で実施することにしました。これまでやってきて足りなくなった部分をどのように補うかが課題だと思います。市町で10時間以上の研修を積まないと中級は受けられない規定になっているものの、その研修が充実したものかどうかということも重要だと感じます。定例会についてですが、ほとんど同じメンバーしか集まらないとか、集まりが悪いという状況はどの市町もあると思います。丸森も同じで、丸森は地域が広く、自転車で通うしかなく、それでも帰りは一時間もかかってしまうなど中央公民館に集めることが難しい。親が送り迎えをするしかない。そこで、定例会の開催地を各地区まわしながらやることも考えたのですが、地域間の距離がさらに遠くなるため、中心部で行う方が何とか集まれるということで、中央公民館がいいということで落ち着きました。蔵王町では卒業してからの関わりが盛んなようですが、OB、OGがもっとJ・Lに関わってもらおうと活動が活性化するのはかなあと思います。何か事業のときだけでも、年1、2回だけでもいいから来てもら

と違うと思います。佐藤隆法君が言ったように、達成感については、たぶんとでも難しいと思います。先日、丸森の高校生のJ・Lと町でばったりと出くわした時、「小野寺さん久しぶりです。今日、角田との交流会があったんですよ。」「何人来た」「角田3人、丸森9人」という話になりました。前は5倍ぐらいの人数でやっていたと思うんですが、J・Lの人数が少なくなってきたとか、意識の問題とかで、そういう人数になったのではないかと思います。横のつながりが薄くなってきたのかなあという心配がありますね。もう少し、J・L同士がうまく連絡を取れるような工夫が必要です。連絡網をつくってあげたりとか、学校内で連絡を回し合ったりとか、掲示板を活用することも大切です。うまく、縦と横のつながりをもたせながら、そこにうまく担当者が入って、子供たちが「やったなあ」と思えるような事業を計画したり、定例会を行ったりすることが必要だと思います。

**村上**：ありがとうございました。それでは、質問や感想をお願いしたいと思います。

**小野**：伊藤さんと山家さんは保護者の立場でもあるということで質問です。皆さんはJ・L経験者だからJ・Lの活動をご存じかと思いますが、子ども会の中でJ・Lのことが分からない保護者に自分の子供をJ・Lにさせたいと感じさせるにはどうすればよいか教えてください。

**伊藤**：子ども会行事などJ・Lが参加する活動で、子供と一緒にその様子を見てもらうことが一番だと思います。

**山家**：口で言っても難しいと思うので、やっぱり見てもらうことが一番だと思います。

**伊藤**：他の保護者が「あの子がこんなことできるの？」なんて感想をいただくことが結構あるんですよ。J・Lが活動している場に来てもらって見てもらうことが大事なかなあと思います。

**山家**：自分の子の活動も分かっているようで分かってない部分があるので、「えっ、J・Lってこんな活動をしているんだ」ということもある。

**村上**：次に角田市の佐藤奈美さん、お願いいたします。

**佐藤(奈)**：参考になるお話ありがとうございました。角田市のJ・Lは一桁の人数で活動している状態です。質問ですけど、角田市のJ・Lは中学生がいないので高校生だけの活動ですが、昔から高校生ではなく中学生がメインで活動しているのですか。

**伊藤**：高校生がたくさんいれば中心となってやってもらえるのですが、今年は1人だけで少なく、また、高校生になると受験とか忙しいので、うちの地区では中学生が中心になってしまいます。中学生がパッと動けるよう

になったのも、この2、3年なので、継続できればいいなと思います。

**村上：**続いて蔵王町の川井さんお願いいたします。

**川井：**私も知らない話をたくさん聞くことができ参考になりました。山家さんに先ほど見せていただきました資料に「子ども会指導者協議会」というものがありました。どんな人たちがいた団体だったのでしょうか。

**伊藤：**その方々から推薦を受けると初級が受講できる。

**山家：**児童館の先生方の組織だったのかな？どうだったのでしょうか。分からないです。

**川井：**今はない団体ということで、どういう関わりだったのか、私も調べてみたいと思います。もう一つうかがいますが、J・Lを卒業した後、やさしいライオンの会をつくって活動されたとのことでしたが、ライオンの会の活動内容はどのようなものだったか教えてください。



**伊藤：**私達がJ・Lに入った頃はもうありました。私の近所に住んでいた方がつくったサークルで、その当時、結婚して子供のいる人たちの集まりで、私が3年生になったときにいろいろ交流するようになり、そのサークルに入ったんです。活動の内容としては、人形劇を中心にナイトハイキング、芸術会などの催しや人形を手作りで作っていました。

**村上：**七ヶ宿の伊藤さんお願いいたします。

**伊藤：**今日はどうもありがとうございました。うまい質問ができるか分からないですけど、みなさんはJ・Lを自分のこととしてとらえていると思います。よその人がやっていると思っている学校の先生や、親御さんにどうやってJ・Lのことを伝えていけばよいかお聞きします。それが分かれば、私達も自分のこととしてとらえてもらえるように話せるのかなと思うんです。分からない先生や分からない親御さんにどのように伝えるか考えるのが私達の仕事だといわれればそうなんですけど。

**村上：**皆さん今の質問についてどうですか？

**小野寺：**あの、極論！究極論ですが、それができれば私も学校で苦勞はしません。実際に学校は忙しいです。日々、授業をしたり、部活をしたり、やるものがたくさんあって、忙しい中にも出張も多く、会議を起す時間がほとんどとれない。小学校はまだ会議をする時間をとることができるのですが、中学校ではそうはいかない。たった何時間かの会議で、J・Lの話をしようというのは何か危機感を感じたときか、これではダメだなというとき以外はありませぬ。となれば、何か機会があるごとに、J・Lの活動を知っている先生が四方山話をしながら実はJ・Lはこんなことをやってるんだよと話をし、今度の試合を休ませろとか、部活を早く切り上げさせろとか言うことくらいしか今はできないのが現状です。

**池田：**それでは、実体験ということで、娘が今年5年生で、夏頃に、急にJ・Lを見てみようかなと話をしてきました。インリーダーの合宿だったんですね。たまたま友達が行くから自分も参加してみたいということで行ったんですが、中学生と触れ合って楽しかったようでした。定例会にも行ってみようかなという感じで、私や妻が進めたわけではなく、自分でその気になったようです。やっぱり、ちょっとしたきっかけだと思うんです。自分も関わっているので、そのように聞かれると「うんじゃ行ってみれば」という声掛けができる。あくまでも、ボランティア活動なので、子供にやれと命令するものではない。ちょうど、興味を持ったところで、どう後押しするかというところかと思います。

**村上：**話も盛り上がりしておりますが、そろそろ時間となりました。お名残惜しいのですが、感謝の言葉といたしまして、研究協議会副会長であります白石市の小野副会長がご挨拶申し上げます。

**小野：**それでは、感謝の言葉と致しまして、今日はお忙しいところ4人の先生方本当にありがとうございました。こんなに素晴らしい4人の先生方が来ていただいたことは奇跡的だと思います。私達は本当に幸せでありがたく思っております。私は白石市ですけど、後期総会が終わり、今、新しい体制でJ・Lの活動がスタートしていますが、なかなか軌道に乗っていないなという気がしております。今日話をお聞きし、J・L活動を進めていく上でとても参考になりました。これからのJ・L活動に、ぜひ、結びつけていきたいなと考えております。本日は大変ありがとうございました。お世話様でした。

**村上：**これで座談会を終了させていただきます。皆さんお忙しいところ本当にありがとうございました。

# 先進地視察研修報告



**平成20年度**  
**大河原地区社会教育主事研究協議会 研修視察要項**

**1 目的**

生涯学習社会の充実が求められる今日、その先進地を視察することにより、管内の各市町における今後の社会教育推進に役立てるとともに、社会教育主事としての資質の向上と豊かな発想力を培う。

**2 期日** 平成20年9月26日(金) 午前8時～午後5時30分

**3 視察地**

(1) 南三陸町志津川公民館

〒986-0763 宮城県本吉郡南三陸町志津川字汐見町120 TEL 0226-46-2639

(2) 塩竈市教育委員会生涯学習課

〒985-0036 宮城県塩竈市東玉川9-1 TEL 022-362-2556

**4 主な視察内容**

(1) ジュニア・リーダーの活動事例について

(2) ジュニア・リーダー育成の現状と課題について

**5 参加者** 大河原地区社会教育主事研究協議会会員14名

**6 日程**

大河原合同庁舎(8:00発)⇒志津川公民館(10:30着)

10:30～12:00

研修 「ジュニア・リーダー育成の現状と今後の在り方」(志津川公民館)

志津川公民館(13:00発)⇒塩竈市公民館(14:30着)

14:30～16:00

研修 「塩竈市におけるジュニア・リーダー活動について」(塩竈市公民館)

塩竈市公民館(16:00発)⇒大河原合同庁舎(17:30着)

**7 研修視察の概要**

(1) 南三陸町志津川公民館

①ジュニア・リーダー育成事業の位置づけ(南三陸町総合計画から)

南三陸町総合計画として、「自然・ひと・なりわいが紡ぐ安らぎとにぎわいのあるまち・南三陸町」の将来像を目指して政策が策定された。教育・生涯学習に関しては、「知性と豊かな心を育むまちづくり」を掲げ、主要施策として、「生きる力を育む学校教育の充実」「地域資源を活かした教育の充実」「生涯学習の推進」「スポーツの振興」「文化の継承と創造」を掲げている。特に、「地域資源を活かした教育の充実」の中の青少年健全育成事業として、「ふるさと学習会推進事業」「ジュニア・リーダー育成事業」、「地域子ども会活動支援事業」、「家庭教育学習支援事業」の4つが掲げられている。

②ジュニア・リーダー育成事業の現状

南三陸町のジュニア・リーダーは、合併により、志津川ボランティアサークル「ありんこ」と歌津町ボランティアサークル「どろんこ」が統合し、平成18年度から、南三陸町ボランティアサークル「ぶらんこ」略称は「MVCぶらんこ」として活動を展開している。

教育委員会における指導体制については、ジュニア・リーダー活動全般にわたる育成指導は

志津川公民館職員が担当し、初級など研修分野の企画・運営は生涯学習課職員の社会教育主事が担当している。

南三陸町にはイン・リーダー制度がないが、5年生の2月ごろに町子連と共催で「子ども会リーダー研修会」を志津川自然の家で開催している。6年生を目前として、子ども会のリーダーを発掘する目的があり、さらに、5、6年を対象とした南三陸町との友好町である山形県庄内町との交流事業を通して、小学生リーダーの研修の機会としている。

募集は、平成20年度より研修制度が改正され、小学校6年生から参加できるようになったが、南三陸町においては従来通り、中学生からの募集にしている。募集にあたっては、最近では校長先生、教頭先生、生徒指導担当教諭との時間調整を行い、直接、学校に出向いて、説明等を行って依頼しており、学校独自に再募集をかけていただくなど効果が見られる。

また、初級研修、中級研修、上級研修、町教育委員会や町子連等の各種事業、子ども会への派遣や自主的な定例会等を通して、段階的に周囲の協力を得ながら育成している。

### ③ジュニア・リーダーOB・OGの関わり

夏場の主要事業には、必ずOB・OGが参加する。現役のジュニア・リーダーにアドバイスや後方支援をするなど縦のつながりが強い。職員の指導よりも効果的で実践的に指導・助言できる存在がOB・OGであり、初級研修の講義の講師も依頼している。ただし、OB・OGは貴重な存在であるが、組織化はされていない。昨年実施した「わくわくキッズ☆ランド」は、ジュニア・リーダー経験のある青年層が実行委員となり、ジュニア・リーダー団体がブースを構え、子供たちに「遊び」を提供するものであるが、ここにもOB・OGが関わっており、事業協力を当時のジュニア・リーダーに呼びかける動きもみられる。

### ④ジュニア・リーダー育成事業の課題

#### ◇学社連携・融合の在り方

- ・学校の勉強・部活等の活動との両立（学校側の理解・協力体制）
- ・先生方の理解を得られるようにするための方策

#### ◇家庭や地域との連携

- ・家庭や地域の行事、習い事との両立（家庭の理解と協力）
- ・子ども会等への積極的な活用の促進（地域の認識）

### ⑤質疑応答から

質問1：定例会の内容とジュニア・リーダーの参加状況はどうなっているか。

回答：事業の進め方と内容についての話し合い。内容が固まったら準備に入る。登録者40名中、およそ15、6人が集まっている。

質問2：ジュニア・リーダーの技術を向上させるための取り組みは何かやっているのか。

回答：技術向上の練習日の設定は行っていない。初級研修会で新中学1年生が入るとジュニア・リーダーの対面式が自主企画として行われているが、その時に練習している。

質問3：2町の合併に伴い、両町のジュニア・リーダーが統合したが、課題はあったのか。

回答：両町のジュニア・リーダー達で話し合わせたら、一緒にやろうということになった。問題は、この公民館がジュニア・リーダーの拠点となったことで、歌津から遠くなったこと。

質問4：ジュニア・リーダーのOB・OGが組織化されていないが、事業には集まっている。将来的にOB・OGをどのように活かしていくつもりか。展望はあるのか。

- 回 答：ジュニア・リーダーを経験した青年を中心に「わくわくキッズ☆ランド」を行った。来年は志津川が会場なので、今年帰省した人たちに、声がけて話し合いを持った。ゆくゆくは、ジュニア・リーダーをサポートするチーム、ジュニア・リーダーとは別に自主的に活動するチームとなって、地元で新たな展開をしてほしいと思っている。
- 質問5：どんなきっかけで北海道の本別町とジュニア・リーダーの交流を行っているのか。
- 回 答：きっかけは教育長同士の話し合いで、本別町から海のある町と交流したい、ということから24年前から始まったもの。また、北海道には元々ジュニア・リーダーという組織がなく、ジュニア・リーダーの会をつくりたいということもあった。
- 質問6：学校の理解、部活動との両立問題をどう考えているか。
- 回 答：学校に、ジュニア・リーダー活動等についてお願いする時、こちらは社会教育という立場で子供たちを育てている、ということを説明している。学校でも家庭でも子供の育成をしている。三者間それぞれの理解が必要であると考えている。
- 質問7：ジュニア・リーダー活動に対する、学校や家庭の理解については、知らせる側の努力が足りないと感じているが、そのあたりはどうか。
- 回 答：小学生のうちにジュニア・リーダーと関わっている子は、活動内容が分かっていて入る子が多い。小学生のうちに事業を通して、ジュニア・リーダーと関わらせることが大切。ジュニア・リーダーについては、小学校との連携も視野に入れる必要がある。

## (2) 塩竈市公民館

### ①塩竈ジュニア・リーダーサークル「杉の子村」について

「塩竈ジュニア・リーダーサークル『杉の子村』」は、地区子ども会における青少年活動の支援を目的に結成された、中学1年生から高校3年生までの、約40名で構成されている青少年ボランティアサークルである。現在、塩竈市子ども会育成連合会（以下塩子連）の下部組織と位置付けられており、生涯学習課においては活動支援を行っている。

#### ◇結成までの経緯

昭和48年に組織され、今年で34年目を迎える。昭和50年代後半に、市中心部で活動していた「杉の子村」と市東部で活動を行っていた「ぎつつらばつつら」が合併して今日に至る。特徴的なことは、子供の育成に関係のないボランティア活動（ゴミ拾いや慰問など）がないことと、子ども会育成連合会の下部組織に位置付けられていることである。

#### ◇活動内容について

毎月第1・3土曜日に定例会を開催。また、地区子ども会の要請に応じて行事などのお手伝い、子ども会育成連合会や教育委員会主催事業のスタッフなどで活躍している。派遣については、塩子連合会行政担当（生涯学習課）へ派遣申込書を提出する。

#### ◇組織体制

代表の「村長」が1人補佐役の「副村長」が2人という体制。村長は、高校2年生になるものが総会で選出される。平成のはじめには100人近くのメンバーがいたが、現在は40名程度である。

### ②ジュニア・リーダーが活動する事業について

#### ◇インリーダー養成研修会

小学校5・6年生を対象に、宿泊研修を通して、自然に親しみ友情を深めながら、子ども

会のリーダーとしての基本的な知識・技術を身に付けることを目的として実施している。

#### ◇しおがま「何でも」体感団

小学校5・6年生を対象に、塩竈市の生活・風土・文化への理解を深め、郷土愛を育成するための事業。「寿司づくり」や「神社ウォークラリー」などを通して、自分の住むまちの魅力を再発見させる。

#### ◇しおがまっ子まつり

ジュニア・リーダーが主体の「大人も子供も楽しめるまつり」。各種イベントや多数のブースを設け多くの来場者がある。

#### ◇ジュニア・リーダー初級研修会

地域における子ども会活動支援のため、ジュニア・リーダーとして積極的にボランティア活動に寄与できる人材の育成を目指して実施している。この研修会を修了した者が希望により「杉の子村」に入会できる。今年度は5名の入会である。

#### ◇二市三町ジュニア・リーダー合同事業（合同キャンプ・研修会・スポーツ大会）

塩竈地区二市三町（塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町）で、子ども会活動や地域活動を行っているジュニア・リーダーの資質向上を図り、交流を深めることを目的として合同事業を実施している。実行委員会を輪番にあたる市町で立ち上げて、実施している。

### ③塩竈市子ども会育成連合会について

塩子連は塩竈市内の子ども会の連合体であり、生涯学習課がその育成支援を担っている。

活動の方針として、指導者の育成や資質向上のための研修会の実施、地区子ども会育成会活動の支援などである。事業として、子ども会育成会にかかわる情報提供とインリーダーおよびジュニア・リーダーの養成など挙げられる。



### ④懸念される問題

#### ◇会員数の減少

塩竈市においてジュニア・リーダーの会員数は名簿上、40名在籍だが、実際に活動しているのは約半数である。そのため派遣要請に応えられなかったりすることがある。そのため、学校現場へのジュニア・リーダーの啓発活動を積極的に行っている。様々な行事を通して、ジュニア・リーダー活動の必要性や理解を深め、活動の活性化を目指している。

#### ◇子ども会活動の形骸化

子供の少子化や生活様式の変化により、子ども会においても前ほど活動が活性化していない現状がある。ジュニア・リーダーが本来の目的を達成させられるような派遣が少なくなっている。子ども会のリーダーを育成する「インリーダー養成研修会」でも単位子ども会によっては参加者がいないこともある。

#### ◇ジュニア・リーダーの活動支援

塩竈市において、ジュニア・リーダーは塩子連の下部組織であるが、行政にて主体的に支援を行っているのが現状である。研修会や事業でかかる経費については連合会から支出されることになっている。本来の姿として、経費負担から運営まですべてを行うことが望ましい。



## ⑤質疑応答から

質問1：定例会や打合せなどを行う、ジュニア・リーダーのための専用のスペースはあるのか。

回答：昔はあったが、親からの評判が悪く、塩子連の役員で協議して壊すことになった。今は使っていない。定例会などを行うときは、教育委員会の職員が会場を確保して、いっどこで、何をやっているかを職員が把握している。

質問2：ジュニア・リーダーは、子ども会育成会の下部組織ということだが、子ども会から派遣要請があった時は、誰が割り振り等の調整役を行っているのか。

回答：教育委員会の職員が高校生ジュニア・リーダーの調整担当者に連絡して、調整担当者が会員に連絡をする。派遣先までの送迎は、公民館を起点として市子連で行っている。

質問3：ジュニア・リーダーOBの組織というのは、何かあるのか。

回答：昔は“てっぺん”という名前のものがあったが、今はない。OBの組織化されたものはないが、事業があるときは、5、6名にきてもらっている。

質問4：一時衰退した時期があったときいている。どのようにして、現在のような活発な状態にしたのか。

回答：いかにジュニア・リーダーに入ってもらおうかを考え、小学生の時からジュニア・リーダーと接する機会が多くなるように、多くの小学生が事業に参加しやすくなるように、事業内容を見直した。“しおがま何でも体感団”では、募集の対象年齢を下げた。“インリーダー研修会”では、定員を増やして募集した。また、子ども会などから派遣要請があった時は、必ず、派遣する形をとった。初級研修会では、2泊3日を1泊2日の日程に変更した。ジュニア・リーダーに入らないのは、実際にジュニア・リーダーを知らないのが問題だと思う。ジュニア・リーダーの活動内容を親に周知するだけでも変わると思う。

### 参加者名簿

市町等の名称	参加者名
白石市教育委員会	小野輝彦
角田市教育委員会	佐藤奈美
蔵王町教育委員会	池田尚人 川井由美
七ヶ宿町教育委員会	伊藤貴子
大河原町教育委員会	尾形 彰
村田町教育委員会	鎌田浩孝 藤原秀光
柴田町教育委員会	大川原真一
川崎町教育委員会	村上 透 佐藤伸一郎
丸森町教育委員会	齋藤公男
仙南広域教育委員会	森 智弘
大河原教育事務所	山本 玲



南三陸町志津川公民館にて



# まとめと課題



## まとめと課題

今回の大河原地区社会教育主事研究協議会研修委員会では、ジュニア・リーダー（以下「J・L」）を研修テーマに選んだ。J・Lサークルは、昭和45～50年頃に各市町で設立され、これまで40年近くの歴史がある。このような歴史があるにもかかわらず、これまで、本協議会では、昭和59年の「少年教育の充実をめざして」などでJ・Lについて触れたことはあったが、J・Lそのものを研修テーマとすることはなかった。今回も「J・Lを中心とした青少年教育」をテーマとしてスタートしたが、研修を重ねるうちに「J・L」に絞って研修することになった。

研修では、まず、各市町のJ・Lの現状と課題について探ることとなり、各市町持ち寄って報告し合った。J・Lの現状については、各市町それぞれ特色のある事業を展開し、J・Lが頑張っている姿が報告された。詳細については、「各市町のJ・L活動」に記載した通りである。

しかし、各市町の課題を見ていくうちに、どこの市町でも同じ悩みを抱えていることが分かった。それは、どこの市町でもJ・Lの会員が減少しているという事実である。さらに、行事へ参加するJ・Lは、その半数にも満たず、「名ばかりのJ・L」が存在するという事実である。会員（実働会員）の減少により、技術面での指導が後輩に伝わらなくなっているのである。

会員減少の原因を探ると、まず、少子化があげられる。子供の数が激減している現在、J・Lの数を増やすことは困難である。次に、子供の多忙化があげられる。中高生になると塾や部活動などで忙しくなり、J・Lの活動をする時間が取れなくなっている。地域においても、子ども会の行事でJ・Lが関わる機会が減少している。せっかく身につけた技術を生かす機会がないことは残念である。J・Lを育成指導する教育委員会側の責任もある。J・Lについて学校から理解を得るための工夫、J・Lの存在を子供や先生だけでなく、地域の子ども会へも周知させるなど、J・Lについて行政側が積極的にPRすることも求められる。

研修の一環として、かつてJ・Lとして活動していた方々やJ・L育成に携わった方から、現在のJ・Lを見て感じることなどについて話していただく座談会を開催した。座談会でも、昔と比べて今はJ・Lとして活動する機会が少ない、J・Lの存在が知られていないなどの課題があがっている。

また、今回の研修では、県内でJ・L活動が活発な南三陸町と塩竈市を視察してきた。両市町ともに年間を通してJ・Lの活動する機会があること、そして、J・L担当者のJ・Lを育成していく意気込みの強さに驚いた。

このように、各市町の現状と課題を探り、座談会、そして先進地視察を通して、課題に対する解決策が少しではあるが見えてきた。40年前に発足したJ・Lサークル。40年間で会員は減少した。活動する機会が減ってきた。塾や部活動などとの両立でJ・Lとして活動する時間も減ってきた。それでも現在のJ・Lは、青少年教育の一翼を担うため、忙しい時間の合間を縫って頑張っている。

われわれ社会教育に携わる者は、忙しくても頑張っているJ・Lのために、J・Lが活躍している状況を、また、J・Lの経験がその後の人生において必ず役立つというメリットも含め、学校や地域に対し広くPRしていかなければならない。それと同時に、J・Lとして活動する機会を設定すること、初級研修会を充実させること、管内J・L交流研修会を継続して実施していくこと、先進事例を取り入れていくことなどにより、J・Lに達成感を感じてもらいながら、育成していくことも重要である。そうすることが、青少年教育の充実につながっていく。

現在のJ・L、そして未来のJ・Lが活躍することを切望する。

## お わ り に

平成20年5月、第1回目の研修委員会を開催し今年度の研修題材の選定協議を行いました。題材の候補にあがったものは、「少年教育(ジュニア・リーダー、子ども会)」「家庭教育(P T A, 子育て)」「協働教育」「団塊の世代」「指定管理者制度」「社会体育の推進」でした。協議の結果、「ジュニア・リーダーを中心とした青少年教育」を選びました。

私たちが他市町の事業内容のことを知る機会はありません。各市町のジュニア・リーダーについても同様です。この研修を通して、近隣市町のジュニア・リーダーの現状や活動内容を知ることができたことは、社会教育主事のみならず、各市町の担当者にとって大変有意義なものになったと思います。

また、視察先や座談会でいただいた貴重な声は、収穫の大きなものでした。視察の申し入れを快く承諾して下さった南三陸町教育員会並びに塩竈市教育委員会の職員の方々、座談会の講師として、ご多忙中のところ会場まで足を運んで頂いてお話をされた4名の方々に、改めて深く感謝いたします。

さて、本報告書の「ジュニア・リーダーの役割」の中で、「ジュニア・リーダーは、それらの役割を全うするため、理論・方法・実技を履修するとともに、実際に活動を通じて常に自らを高めておく必要がある」と述べました。そのことは私たちにも当てはまります。現代社会は急激に変化し日々変貌を続けています。こうした社会変化に対応していくための理論・方法・実技が私たちにも求められており、その与えられた役割を全うするためには、常に自らを高めておく必要があると思います。

最後となりましたが、一年を通じて多忙な通常業務をこなしながら、真摯に研修に取り組んだ各市町の研修委員に敬意を表すとともに、ご協力をいただいた関係者の皆様に心より感謝を申し上げ、おわりの言葉といたします。本当にありがとうございました。

平成21年3月

平成20年度 大河原地区社会教育主事研究協議会研修委員会  
研修委員長 川崎町社会教育主事 村上 透

### 【大河原地区社会教育主事研究協議会研究同人】

白石市社会教育主事	◇小野 輝彦		
角田市社会教育主事	※佐藤 奈美		
蔵王町社会教育主事	池田 尚人	※川井 由美	
七ヶ宿町社会教育主事	※伊藤 貴子	高橋慎太郎	
大河原町社会教育主事	☆尾形 彰		
村田町社会教育主事	鎌田 浩孝	※藤原 秀光	佐藤 隆法
柴田町社会教育主事	石上 幸弘	※大川原真一	
川崎町社会教育主事	◎村上 透	佐藤伸一郎	
丸森町社会教育主事	齋藤 公男	※伊藤 博道	
仙南広域社会教育主事	加藤 雅章	黒澤 良	○森 智弘
大河原教育事務所	※山本 玲		

☆研究協議会会長  
◇研究協議会副会長  
◎研修委員長  
○研修副委員長  
※研修委員